

さっぽろ障がい者フアン進捗状況(平成27年度)

平成28年10月

札幌市保健福祉局障がい保健福祉部

もくじ 目次

分野1	理解促進	1 ページ
分野2	生活支援	9 ページ
分野3	保健・医療	25 ページ
分野4	生活環境	36 ページ
分野5	教育・発達支援	49 ページ
分野6	雇用・就労	60 ページ
分野7	情報・コミュニケーション	67 ページ
分野8	スポーツ・文化	73 ページ
分野9	安全・安心	80 ページ
分野10	差別の解消・権利擁護	90 ページ
分野11	行政サービスにおける配慮	95 ページ
しょうがい福祉計画の部		98 ページ

障がい者保健福祉計画の部

分野1 理解促進

基本施策1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	こうほうし こうほう ばんぐみ 広報誌、広報番組ホームページなどを通じた広報
1	もくてき 目的・内容	障がいに対する社会全体の理解を促すため、広報誌、広報番組、ホームページなどの各種媒体を通じて、関係法令や札幌市の障がい者施策等を積極的に広報する。 また、情報提供に際しては、分かりやすい表現などに留意し、障がいのある方も含めたあらゆる人が市政情報を得やすいよう、工夫する。
	じっせき 実績	●広報さっぽろ ・28年3月号特集「街に輝く！若者のチカラ」 インタビューに障がい者スポーツ選手を取り上げたほか、併せて28年4月に施行される「障害者差別解消法」を掲載 ・札幌市からのお知らせ 「障がい者福祉施設などで制作した製品の販売」「障がいのある方の就職を支援するセミナー」など多数 ●広報テレビ番組 ・札幌ふるさと再発見：福祉除雪の取組（H28.3.19） ●広報ラジオ番組 ・さっぽろ散歩：福祉除雪希望者募集（H27.9.5） 地域ぬくもりサポート事業（H27.11.7） 保養センター駒岡リニューアルオブソ（H28.3.26）
	みとお 見通し	●広報さっぽろ ・28年5月号企画「誰もが安心して暮らせるまちに」 障害者差別解消法の施行に合わせて、障がい当事者2名の対話と、法律の概要説明などを掲載 ・さっぽろおでかけナビ パラスポーツ体験会（28年8月号） ・札幌市からのお知らせ 「障がい者福祉施設などで制作した製品の販売」「障がいのある方の就職を支援するセミナー」など多数
	たんとう ぶ 担当部	そうむ きよくこうほう ぶ 総務局広報部

分野1 理解促進

基本施策1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	でまえ こうざ ふきゅう けいはつ さっし どう かつよう けいはつ こうほう 出前講座や普及啓発冊子等を活用した啓発・広報
2	もくてき ないよう 目的・内容	でまえ こうざ どう ししよくいん ちいき でむ しょう ふくし 出前講座等により市職員が地域に出向いて、障がい福祉に かん とりくみとう しょうかい しみん じょうほうきょうゆう 関する取組等について紹介し、市民と情報共有する。 また、ふきゅう けいはつ さっし さまざま しかい はいふ 普及啓発冊子を様々な機会に配布することで、障が いへのりかい そくしん はか 理解促進を図る。
	じっせき 実績	しょう ふくし かか でまえ こうざ けん じっし 障がい福祉に係る出前講座を20件実施。
	みとお 見通し	へいせい ねんど どうよう とりくみ けいぞく 平成27年度と同様の取組を継続する。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ふくし きょういく きょうざい さくせい はいふ ふくし だくほん 福祉教育のための教材の作成・配布（福祉読本など）
3	もくてき ないよう 目的・内容	ふくし けいはつ はか しょう ひと こうれいしゃ たい 福祉の啓発を図るとともに、障がいのある人や高齢者に対 するただ ちしき りかい そくしん はか 正しい知識の理解促進を図るため、毎年小学校高学年用 のふくし だくほん ちが し あ ばりあふりー だいけんきゅう 福祉読本「違いを知り合うためのバリアフリー大研究」を はっこう 発行している。
	じっせき 実績	しない かく しょうがっこう ようご がっこう はいふ 市内の各小学校・養護学校へ配布
	みとお 見通し	へいせい ねんど どうよう とりくみ けいぞく 平成27年度と同様の取組を継続する。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野1 理解促進

基本施策1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進

ばんごう 番号	じゆうてん とりくみ めい 重点取組名	しょうがいしゃしゅうかん きねん じぎょう じっし 障害者週間記念事業の実施
4	もくてき 目的・内容	しょうがいしゃ もんだい かん する しみん りかい にんしき ふか しょうがいしゃ 福祉の向上を図るために、街頭PR（障害者の制作した作 品の街頭配布）、元気ショップの出店、あんま・マッサージ 治療の無料奉仕、楽芸会（障害者の文化芸術活動発表 会）、啓発ポスター掲示等の事業を行っている。
	じっせき 実績	がいとう びーあーる かく くやくしょ しゅうへん けい こ せいひん はいふ 街頭PR：各区役所周辺にて、計6,000個の製品を配布 あんま・マッサージ治療の無料奉仕：88名に実施 啓発ポスター：市役所及び区役所、地下鉄各駅、その他の施 設で掲示 このほか、札幌市の実施する以下の事業を、障害者週間記念 事業の関連事業（いわゆる冠事業）として実施した。 ・ 楽芸会（ロンドンパラリンピック出場選手の講演会） （12月13日） ・ 心の輪を広げる体験作文及び障害者週間ポスター表彰式 （12月13日） ・ 障害者による書道、写真コンテスト伝達式（12月13 日）
	みとお 見通し	へいせい ねんど どうよう とりくみ じっし 平成27年度と同様の取組を実施
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよふよう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野1 理解促進

基本施策2 公共サービス従事者などに対する理解促進

ばんごう 番号	じゆうてん とりくみ めい 重点取組名	ふくし ていきよう じぎようしゃ たい けんしゅう じっし 福祉サービス提供事業者に対する研修の実施
1	もくてき ないよう 目的・内容	きょたく かいご じぎようしゃ のサービス提供責任者等を対象として、利用者の立場に立った本人中心の個別支援計画作成のあり方について研修を行う。
	じっせき 実績	【基礎研修】・第1回（7月）30名 ・第2回（9月）25名 ・第3回（10月）31名 【応用研修】・12月 19名
	みとお 見通し	【基礎研修】 利用者の立場に立った本人中心の個別支援計画作成の考え方を学ぶ。 ・第1回（7/11、7/20） ・第2回（9/12、9/21） ・第3回（10/17、10/24）実施予定 【応用研修】 受講者が各自の事例を持ち寄り、課題を整理し、解決方法を検討することにより、利用者の立場に立った本人中心の個別支援計画作成の質の向上を図る。 ・1/18実施予定
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよひょう 保健福祉局障がい保健福祉部

分野1 理解促進

基本施策2 公共サービス従事者などに対する理解促進

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	しょう どうじしゃ こうし はけん 障がい当事者の講師派遣
2	もくてき ないよう 目的・内容	しょう しゃ りかい そくしん しょう しゃ じりつ しゃかい さんか そくしん 障がい者への理解促進、障がい者の自立と社会参加の促進 をはか もくてき じっし を図ることを目的として実施しているもので、しょう どうじしゃ をたいしょう こうし ようせい けんしゅう じっし うえ どうがい けんしゅう えりようしゃ を対象として講師養成研修を実施した上で、当該研修修了者 をこうし とうろく がっこう きぎょう かくしゅ だんたい かいさい けんしゅ を講師として登録し、学校や企業、各種団体が開催する研修 うかいとう こうし はけん 会等の講師として派遣している。
	じっせき 実績	しょう しゃ こうし ようせい こうざ しゅうりょうせい めい 障がい者講師養成講座修了生：14名 こうし はけん かいすう かい 講師派遣回数：82回 こうし はけん にんずう めい の にんずう 講師派遣人数：95名（延べ人数） ちょうこうしゃすう めい の にんずう 聴講者数：4,691名（延べ人数）
	みとお 見通し	へいせい ねんど どう ないよう よてい 平成27年度と同内容を予定
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野1 理解促進

基本施策3 ボランティア活動・社会貢献活動の理解促進

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	ボランティア振興事業
1	もくてき ないよう 目的・内容	多様化する福祉ニーズと高まるボランティア活動への期待に こたへるため、ボランティア活動の普及啓発・相談・登録・ じゅきゅうちようせい 需給調整のほか、ボランティア活動機材の貸出し、人材養成 のための研修等を行っている。
	じっせき 実績	ねんかんけんしゅうすう 年間研修数 335講座 じゅこう にんずう 受講人数 12,316人 かしつ りよう けんすう 貸室利用件数 748団体
	みとお 見通し	シニア世代の社会参加と活動への「つなぎ」「定着」を目指 す他、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル改定 ばん もと けんしゅう もぎ えんしゅうとう と く 版を基に、研修や模擬演習等に取り組んでいく。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょく そうむ ぶ 保健福祉局総務部

ばんごう 番号	じゆうてん とりくみ めい 重点取組名	まちづくり活動への支援
	もくてき 目的・内容	【さぽーとほっと基金】 市民や企業などからの寄附によって、福祉や子育て、青少年育成、安全・安心、東日本大震災被災者支援など、市民によるまちづくり活動を支援するために設置した基金。 【市民活動サポートセンター】 市民が地域の課題などの解決に向けて自ら行動する「市民自治が息づくまちづくり」を目標としている本市において、福祉分野を始めとした営利を目的とせず自発的に公益的な活動を行う市民活動団体は、そのまちづくりの重要な一翼を担うことから、市内の市民まちづくり活動団体が地域の課題などの解決に向けて自ら行動するための支援を充実させることを目的とする。 市民活動サポートセンターはこの市民活動団体を支援する総合拠点施設として平成15年度に設置。主な機能として、「情報提供・相談機能」「交流活動支援機能」「研修学習機能」「市民活動団体支援機能」があり、平成18年度から指定管理者制度を導入し公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会に管理運営を委託している。
2	じっせき 実績	【さぽーとほっと基金】 - 寄附の内容：518件（延件数）、107,102,603円 - 助成の内容：124事業、67,047,813円 【市民活動サポートセンターの運営】 センター利用者は、69,729人。 事務ブースは、19ブースを提供。 無料の会議コーナーの利用件数は、1,757件で、利用率は83.0%であった。 市民活動を行う際の情報提供や相談を受けているほか、市民活動者、団体間の情報交換や交流を図るサロン事業や、市民活動団体の組織運営に役立つ講座（会計、広報、ファンドレイジング等をテーマとした講座を実施した。5回実施、参加者数171名）

みとお 見通し	【さぽーとほっと基金】 平成27年度と同様の取組を実施。 【市民活動サポートセンターの運営】 平成26年度に指定管理者の更新を行ったことから、今後も引き続き、市民活動を総合的に支援する拠点として、利用者から寄せられる意見もふまえながら、市民活動団体のニーズを的確に反映した事業運営を指定管理者と連携して行っていく。 また、センターでは、NPO 法人の所轄庁事務の補助業務として、事業報告書の取次ぎ等も行っており、今後はNPOに関する市民活動相談の充実を図る等、よりいっそう市民活動の支援機能を強化する。
たんとう ぶ 担当部	しみん ぶんか きょくしみん じち すいしんしつ 市民文化局市民自治推進室

分野2 生活支援

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	そうだん しえん じぎょう じゅうじつ 相談支援事業の充実
1	もくてき ないよう 目的・内容	しょう かがい のある方があんしんして生活することができるよう、そうだん しえん じぎょう じゅうじつ 相談支援事業の充実と、かんけい 機関 の連携によるそうだん しえん たいせい 相談支援体制のきょうか 強化を図る。 そうだん しえん じぎょう 相談支援事業所においては、ちいき 地域支援員をはいち 配置して、くやくしょ 区役所をはじめとするかんけい 機関 やちいき 地域福祉関係者とのれんけい 連携を図ったり、ちいき 地域で生活するしょう かがい のある方をぴあさぽーターとしてはいち 配置し、とうじしゃ 当事者主体によるかつどう 活動をしえん 支援する。 また、きざん 基幹相談支援センターにおいては、そうだん しえん じぎょう 相談支援事業所に対するせんもん 専門的なたすけ 助言、けいかく 計画相談支援やちいき 地域移行・ちいき 地域定着しえん 支援のすいしん 推進、ぴあさぽーターのかつどう 活動支援をおこなう。
	じっせき 実績	- しょう かがい 者相談支援事業 ごうけい 合計20か所で実施。そうだん しえん けんすう 相談支援件数68,048件、27ねんどまつ 年度末のとうろく 登録者数6,121人。 - しょう かがい 児等療育支援事業 5か所でじっし 実施。ほうもん 訪問86件、がいらい 外来110件、しせつ 施設支援404件。 - ちいき 地域生活支援センターさっぽろ してい 指定管理者によりうんえい 運営（24ねん 4がつ～28ねん 3がつまつ 末までしてい 指定かんり 管理）
	みとお 見通し	- しょう かがい 者相談支援事業 ひきつづ 引き続き20か所で実施。 - しょう かがい 児等療育支援事業 ひきつづ 引き続き5か所で実施。 - ちいき 地域生活支援センターさっぽろ してい 指定管理者によりうんえい 運営（28ねん 4がつ～32ねん 3がつまつ 末までしてい 指定かんり 管理）
	たんとう 担当部	ほけん ふくし きょく 保健福祉局 しょう かがい 保健福祉部

ぶんや 分野2 せいかつ 生活支援

基本施策1 個人のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	じりつ しえん きょうぎかい うんえい 自立支援協議会の運営
2	もくてき ないよう 目的・内容	かくぶかい ちいき ぶかい せんもん ぶかい ちゅうしん こべつ 各部会（地域部会、専門部会）を中心に、個別のニーズから地域課題を抽出し、解決を図ることを目的として、情報の共有、研修の開催等を通じて、関係機関相互の連携体制の強化を図るとともに、地域の支援体制の整備について協議を行う。 また、「まちの課題プロジェクトチーム」を設置し、さまざまな地域課題の検討・整理を行う。
	じっせき 実績	じりつ しえん きょうぎかい ぜんたいかい かいさい かいすう かい ・自立支援協議会全体会 開催回数2回 かだい せいり かいさい かいすう かい ・まちの課題整理プロジェクトチーム 開催回数10回
	みとお 見通し	かだい せいり じつこう まちの課題整理プロジェクトチームについては、より実効性の高い体制とするため、組織体制の見直しを行う。見直し後の組織体制において、各プロジェクトチームや各部会を含めて、課題解決に向けて施策に反映する等、実行力を持って取り組んでいく予定である。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほうけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	しょうかい ふくし かくしゆ えんかつ ていきよう 障害福祉サービスをはじめとした各種サービスの円滑な提供
3	もくてき ないよう 目的・内容	ごさんしやう 99～102ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほうけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野2 生活支援

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	じゅうど しょう かた たい しえん 重度の障がいのある方に対する支援 (パーソナルアシスタンス事業)
4	もくてき ないよう 目的・内容	じゅうど しんたいししょう しや ちいきいこう すいしん ちいきせいかつしえん もくてき 重度身体障がい者の地域移行の推進と地域生活支援を目的 として、ゆうしょう とう ちいき ふくしりょく かつよう さつぽろ 有償ボランティア等の地域の福祉力を活用する札幌 市独自の介助制度。 りようしゃ じゅうど からだ しょう しや じゅうどほうもんかいご しきゅうけて 利用者である重度身体障がい者は、重度訪問介護の支給決 定時間の一部を金額に振り替え、札幌市から直接支給される かいじょひよう はんいない かいじょほうしゅうがく みずか けつてい ちいき かいじょしや 介助費用の範囲内で介助報酬額を自ら決定し、地域の介助者 と直接契約を締結することにより、必要な介助を受ける。 ほんじぎょう かいじょしや しかくとう ひつよう かいじょ 本事業は、介助者のヘルパー資格等を必要としておらず、 慣れた地域の介助者から介助を受けることができ、また、必 要な介助体制を自ら組み立てることができる。加えて、事業 所を利用した場合に必要な間接経費がなく、介助者の時 給の設定によっては、従来よりも介助時間数を延伸すること が可能となる。 ほか さつぽろし しょう しゃ だんたい いたく せつち びーえー その他、札幌市が障がい者団体に委託して設置したP Aサ ポートセンターが、りようしゃ かいじょしや かくしゅそうだ 利用者と介助者のマッチングや、各種相 談支援を行っている。
	じっせき 実績	りようしゃ すう めい かいじょ とうろく しや すう めい 利用者数 63名 介助登録者数 365名 いこう じかん ひと へいきん じかん つき 移行時間(1人あたり平均) 177時間/月 りよう じかん 〃 225時間/月 ※ へいせい ねん がつまつ じっせき 平成28年3月末実績
	みとお 見通し	じゅうど ほうもん かいご りようしゃ ぞうか じぎょう しゅうち きょうか ともな 重度訪問介護利用者の増加、事業の周知強化などに伴い、 りようしゃ すう ぞうか みこ 利用者数の増加が見込まれる。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしやう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

番号	重点取組名	医療的ケアが必要な重症 心身障がいのある方に対する 地域生活支援の充実の検討
5	目的・内容	【目的】 医療的ケアを必要とする重度の障がい者の日中活動等の充実を図る ①重症 心身障がい者受入促進事業 【内容】生活介護、短期入所事業所、児童発達支援及び放課後等児童デイが、医療的ケアを必要とする重度の障がい者受入のために看護師を配置した場合に、看護師に係る人件費の一部を助成する。 ②重症 心身障がい児（者）地域生活支援事業 【内容】短期入所事業所が施設設備整備又は医療機器の購入等を行った場合に補助を実施。 ③障がい者地域生活サービス基盤整備事業 【内容】充実した設備を有する生活介護及び短期入所（併設）事業所の新築整備費の一部に補助を実施。
	じっせき実績	①重症 心身障がい者受入促進事業 ・継続補助：0箇所 ・新規補助：生活介護1箇所、短期入所1箇所、児童系3箇所 ②重症 心身障がい児（者）地域生活支援事業 ・新規補助：1箇所 ③障がい者地域生活サービス基盤整備事業 ・新規補助：2箇所（内1箇所は平成26年度の繰越明許
	みとお見通し	①重症 心身障がい者受入促進事業 ・継続補助：生活介護1箇所、短期入所1箇所、児童系3箇所 ・新規補助：5箇所 ②重症 心身障がい児（者）地域生活支援事業 ・新規補助：2箇所 ③障がい者地域生活サービス基盤整備事業 ・新規補助：1箇所
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

ぶんや 分野2 せいかつ 生活支援

基本施策1 個人のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しょう 障がいのある方の高齢化に対する支援
6	もくてき 目的・内容	ボランティア等の地域福祉力を活用した支援体制の充実の検討と同様。14ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう 保健福祉局 しょう 障がい 保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	いどう 移動支援事業の拡充の検討
7	もくてき 目的・内容	単独では外出困難な障がい者（児）が、社会生活上必要不可欠な外出 及び余暇活動や社会参加のための外出をする際に、ガイドヘルパーを派遣して、外出時に必要となる移動の介助 及び外出に伴って必要となる身の回りの介護を行う。
	じっせき 実績	（移動支援全体） 年間延利用者数 23,863人 年間延利用時間 322,278時間
	みとお 見通し	（移動支援全体） 年間延利用者数 26,598人 年間延利用時間 389,754時間
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう 保健福祉局 しょう 障がい 保健福祉部

分野2 生活支援

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

番号	重点取組名	ボランティア等の地域福祉力を活用した支援体制の充実の検討
7	目的・内容	障がいのある方に対する理解促進を図り、自立生活を地域全体で支えていくため、地域住民による有償ボランティア活動を推進するしくみを整備する。 札幌市は、利用者と地域の有償ボランティアを結びつける「地域ぬくもりサポートセンター」を設置し、利用者等の募集、マッチング、研修の実施などを進める。利用者は、家事の援助や見守り、近隣への送迎といった支援を有償ボランティア（地域サポーター）に依頼し、1回の支援に対して500円を直接支払う。 この事業では、障害者総合支援法や介護保険法では対象とならない、話し相手、除雪、大掃除などの支援を広く対象としているほか、障がいのある高齢者本人はもとより、本人支援に資するものであれば家族支援も対象としている。 障がいのある方に対する理解促進を図り、自立生活を地域全体で支えていくため、地域住民による有償ボランティア活動を推進するしくみを整備していく。
	実績	（平成27年10月より実施区を全区に拡大） - 利用者：206名 - 有償ボランティア（地域サポーター）：260名 - 支援件数：607件
	見通し	実施区を全市として引き続き実施し、また事業周知イベント等についても実施していく。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野2 生活支援

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

番号	重点取組名	障がい児・者施策支援の再整理・一元化
8	目的・内容	平成27年4月から、障がい児・者に関する施策展開を保健福祉局に統合し、児・者一貫した切れ目のない支援の実現を目指す。
	実績	平成27年4月に統合
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	よう かいごしゃ どう はいしゅつしえん じぎょう 要介護者等ごみ排出支援事業（さわやか収集）
9	もくてき・ないよう 目的・内容	ごみステーションにごみを排出することが困難な高齢の方や障がいのある方などへの支援として、燃やせるごみなどの「生活ごみ」は玄関先から収集し、「大型ごみ」は家の中から運び出して収集する。 また、希望者には収集の際に安否確認を行う。 ◆対象者の要件 家庭から出るごみをご自身で排出することや大型ごみを家の中から運び出すことが困難な方で、親族や近隣住民、地域ボランティア等による支援が受けられず、次の①～③のいずれかに該当する方。なお、二人以上の世帯の場合は、世帯全員が要件に該当することが必要。 ① 介護保険の要介護2以上又は障害福祉サービスの障害支援区分3以上 ② 介護保険の要支援1・2又は要介護1か、障害福祉サービスの障害支援区分1・2で、本人又は世帯内のどなたか一人以上がホームヘルプサービスを利用していること。 ③ 障害福祉サービスの同行援護を利用していること。 ◆申込先 「生活ごみ」は、お住まいの区を所管する清掃事務所へ 「大型ごみ」は、大型ごみ収集センターへ
	じっせき 実績	平成27年度は、平成26年度に緩和した対象者要件に基づき、さわやか収集を実施した。 利用世帯数は、3,221世帯 ※対象要件については、目的欄に記載
	みとお 見通し	平成28年度も、平成27年度と同様に緩和後の現行要件に基づいて実施している。 利用世帯見込み数：3,791世帯
	たんとう ぶ 担当部	かんきょうきょく かんきょうじぎょう ぶ 環境局 環境事業部

分野2 生活支援

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

番号	重点取組名	発達障害者支援体制整備事業
10	目的・内容	発達障がいのある方に対するライフステージを通じた一貫した支援を行うため、地域の支援体制の充実・整備を図る。
	実績	・発達障がい者支援関係機関連絡会議の開催（6回） ・普及啓発冊子「虎の巻その5」として「子育て使える虎の巻」を発行。その1～5を合わせ約10,000部を配布 ・支援ファイル「サポートファイルさっぽろ」の利用促進を図るため、支援者対象の研修会を開催（参加者211人） 「サポートファイルさっぽろの記載例・活用例」を作成し、ホームページに掲載 ・発達障がい者の作品展「カラフルブレインアートフェス」の開催（来場者2,066人） ・発達障害に関する家族支援事業 - ペアレントメンターフォローアップ研修の開催（研修修了者33人） - 家族支援、ペアレントメンターの理解啓発のための公開講座の開催（参加者121人） - ペアレントメンターによる相談の実施（14回） ・発達障がいに関する支援モデル事業 - 社会適応が困難な事例への支援に関する研修会を開催（2回 参加者66人）
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

ぶんや 分野2 せいかつ しえん 生活支援

基本施策2 きほん しやく 施設入所者 しせつ にゅうしよしゃ ・ せいしんか びょういんにゅういん 精神科病院入院 患者の地域生活への移行推進 ちいき せいかつ いこう すいしん

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ちいき いこう しえん ちいき ていちゃく しえん 地域移行支援・地域定着支援
1	もくてき ないよう 目的・内容	してい う そうだん しえん じぎょうしゃ しょうがいしゃ ちいき せいかつ 指定を受けた相談支援事業者が、障がい者の地域生活への いこう じゅんび ていちゃく しえん おこな 移行準備や定着のための支援を行う。 ちいき いこう しえん 1 地域移行支援 しょうがいしゃ しえん しせつ など にゅうしよ せいしん か びょういん にゅういん 障害者支援施設等に入所・精神科病院に入院をしている しょうがいしゃ ちいき せいかつ いこう じゅうきょ かくほ そうだん など 障がい者に、地域生活に移行するための住居の確保や相談等 の支援を実施 ちいき ていちゃく しえん 2 地域定着支援 きょたく など たんしん せいかつ しょうがいしゃ じょうじ れんらく たいせい 居宅等で単身で生活する障がい者に、常時の連絡体制を かくほ きんきゅう じたい など そうだん など しえん じっし 確保し、緊急の事態等に相談等の支援を実施
	じっせき 実績	りよう じっせき へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ ていきょうぶん 利用実績(平成27年4月～平成28年3月サービス提供分) ちいき いこう しえん じつ りよう しや すう にん 1 地域移行支援・・・実利用者数 8人 ちいき ていちゃく しえん じつ りよう しや すう にん 2 地域定着支援・・・実利用者数 30人
	みとお 見通し	じぎょう しゅうちい ともな しょうがいしゃ しえん しせつ など せいしん か びょういん 事業の周知に伴い、障害者支援施設等や精神科病院からの ちいき いこう しえん たんしん せいかつ はじ しょうがいしゃ ちいき ていちゃく しえん 地域移行支援と単身生活を始める障がい者の地域定着支援の りよう しや ぞうか みこ 利用者の増加が見込まれる。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしやう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野2 生活支援

基本施策2 施設入所者・精神科病院入院患者の地域生活への移行推進

番号	重点取組名	グループホーム等の整備推進
2	目的・内容	グループホームを新規に運営する際の新築整備費または備品等購入費の一部に対し補助することにより、障がい者の地域における居住の場を確保するとともに、地域移行を促進する。
	実績	補助実績なし（国の補助採択を受けられなかったため）
	見通し	本市としては重症心身障がい者が利用可能な整備計画を優先し採択。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	地域生活の体験支援
3	目的・内容	施設に入所している身体障がい者又は自宅で家族等と同居している身体障がい者の自立意欲の促進及び自活能力の向上を図るため、施設や自宅以外の場所に宿泊して地域生活を体験する場合に要した費用について、補助金を交付する。
	実績	交付件数 0件 交付金額 0円
	見通し	交付件数 10件 交付金額 196,000円
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野2 生活支援

基本施策2 施設入所者・精神科病院入院患者の地域生活への移行推進

番号	重点取組名	住宅確保要配慮者に対する住居の安定確保の取組（再掲）
4	目的・内容	47ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	都市局市街地整備部

番号	重点取組名	入所施設との情報共有・連携
5	目的・内容	地域移行の推進を図るため、入所施設の施設長等と情報・意見交換会等を実施する。
	実績	平成26年度は意見交換会の実績はなし。
	見通し	平成27年度以降の実施は未定であるが、既に入所施設等とは連携を密にしていることから、今後も引き続き、情報共有・連携に努めてまいりたい。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

ぶんや 分野2 せいかつ しえん 生活支援

きほん 基本施策3 ふくし 福祉用具などの普及促進・りよう 利用支援・けんきゅう 研究 かいはつ しえん 開発支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ほそうぐ ひ しきゅう 補装具費の支給、にちじょうせいかつ ようぐ 日常生活用具の給付
1	もくてき ないよう 目的・内容	<ほそうぐ ひ しきゅう 補装具費支給> しんたいしやう 身体障がい者（児）のうしな 失われたしんたい きのう 身体機能をほかん 補完またはだいたい 代替 するようぐ 用具のこうにゅう 購入及びしゅうり 修理に要するひよう 費用のしきゅう 支給を行うことにより、 しょくぎよう 職業その他にちじょうせいかつ 日常生活ののうりつ 能率のこうじやう 向上を図ることをもくてき 目的とする。 <にちじょうせいかつ ようぐ きゅうふ 日常生活用具給付> ざいたく 在宅のじゅうどしやう 重度障がい者（児）にたいし に対し、とくしゆ しんだい 特殊寝台、とくしゆ 等のにちじょうせいかつ ようぐ 日常生活用具をきゅうふ 給付することにより、にちじょうせいかつ べんぎ はか 図ることをもくてき 目的とする。
	じっせき 実績	<ほそうぐ ひ しきゅう 補装具費支給> ぎし 義肢・そうぐ 装具・くるまいす 車椅子等のこうにゅう 購入・しゅうり 修理にかかるひよう 費用を支給 しんき 新規支給 3,104件 けん 修理 2,276件 <にちじょうせいかつ ようぐ 日常生活用具> ストーマ 用装具・よう そうぐ 歩行補助つえ・ほこう ほじょ たん きゅういんき 吸引器等のきゅうふ 給付 しんき 新規支給 35,100件
	みとお 見通し	もくてき ないよう 目的・内容はへいせい 平成27年度と同様。にちじょうせいかつ ようぐ 日常生活用具については、 へいせい 平成28年4月から、ねん がつ 4月から「しやく 視覚障害者用おんせい あいしー Cタグレコー ー」をきゅうふ 給付種目にしゆもく 追加している（へいせい 平成28年8月末時点支 う 給決定けんすう 件数：41件）
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよしやう 保健福祉局障がいほけん ふくし ぶ 保健福祉部

分野2 生活支援

基本施策3 福祉用具などの普及促進・利用支援・研究 開発支援

番号	重点取組名	福祉用具の普及（展示・リサイクルなど）
2	目的・内容	身体に障がいのある方が用いる補装具、日常生活用具、自助具等の普及を目的に福祉用具の常設展示コーナーを設け、福祉用具に関する各種相談に応じる。
	実績	1 福祉用具展示及び福祉用具に関わる相談（33件） 2 企業1件（11名）、学校2件（児童50名、生徒68名。計118名）に対し、福祉用具説明会を開催した。 また、「福祉用具機器展inさっぽろ2015」（期間：11月13、14日。場所：札幌市社会福祉総合センター）に福祉用具相談コーナーを初出展し、ケアマネジャー等へ福祉用具の相談及び説明を行った（20件）。
	見通し	福祉用具の見学や体験学習で来所する児童や生徒、企業等の見学者に対して、福祉用具の説明・相談を実施する予定。 また、「福祉用具機器展inさっぽろ」において福祉用具相談コーナーを出展する予定。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	福祉産業共同研究事業
3	目的・内容	【廃止理由】 大学等での研究が事業化に至るまでには時間を要すると共に、補助の申請が他の補助事業等と比較して少ないことから、事業の内容やあり方について検討を要するため。
	実績	
	見通し	
	担当部	経済環境局国際経済戦略室

分野2 生活支援

基本施策3 地域福祉力を担う人材の育成・確保

番号	重点取組名	ボランティア振興事業（再掲）
1	目的・内容	6ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局総務部

番号	重点取組名	福祉サービス提供事業者に対する研修の充実（再掲）
2	目的・内容	4ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	ボランティア等の地域福祉力を活用した支援体制の充実の検討（再掲）
3	目的・内容	14ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

ぶんや 分野2 せいかつ しえん 生活支援

きほん 基本施策3 ちいき ふくし りよく 地域福祉力を担う人材の育成・確保

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	げんき しえん じぎょう 元気なまちづくり支援事業
4	もくてき ないよう 目的・内容	しみん みちか く そうい さいりょう 市民に身近な区の創意や裁量により、地域の特性を活かし みりよくてき かつりよく ちいき すす 魅力的で活力ある地域づくりを進めるため、市民の主体的な かつどう たい さまざまな しえん じっし まちづくり活動に対し、様々な支援を実施。
	じっせき 実績	かくく 各區において、多様な担い手やあんしん あんぜん 連携・連帯のま ちづくりに重点をおき事業を推進するとともに、市民まちづ くり局において、学生のまちづくり活動への参加促進など、 ぜんしてき じゅうてんてき と く ひつよう 全市的かつ重点的に取り組むことが必要とされる事業につい て実施。
	みとお 見通し	げんき しえん じぎょう みらい えがお 「元気なまちづくり支援事業」を「未来へつなぐ笑顔のまち づくり活動推進事業」へ再編し、地域活動団体等との新たな れんけい ちいき じつげん む 連携や、地域まちづくりビジョンの実現に向けた活動の支援 のほか、アクションプラン実施に資する事業費を計上。
	たんとう ぶ 担当部	しみん ぶんか きょく しみん じち すいしんしつ 市民文化局市民自治推進室

分野3 保健・医療

基本施策1 障がいの原因となる疾病の予防対策・早期発見

番号	重点取組名	妊婦支援相談事業
1	目的・内容	安心・安全な妊娠、出産及び児童虐待予防のために、母子健康手帳交付時に妊婦と面接し、リスクアセスメントを実施することで、妊婦の不安を軽減するとともに、ハイリスク妊婦を把握し、継続的な支援につなげる。
	実績	母子健康手帳交付時の面接相談 ・面接相談実施数14,810人 面接相談により把握したハイリスク妊婦への支援 ・家庭訪問等の実施数499人
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	担当部	保健福祉局保健所

基本施策1 障がいの原因となる疾病の予防対策・早期発見

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ぼし かんれん 母子関連マス・スクリーニング検査
2	もくてき 目的・内容	新生児、乳幼児、妊婦を対象とした母子保健全般にわたる病気の早期発見のためのマススクリーニング検査（集団検査）を行い、早期治療に結びつけることで、障がいの発生を未然に防止している。 対象となる疾病は、先天性代謝異常等（26疾患）、胆道閉鎖症、小児がん・神経芽腫、妊婦甲状腺機能異常などで、市内医療機関、関連大学医学部、保健所・保健センターとの緊密な連携のもと、迅速な早期診断・早期治療の体制を構築している。
	じっせき 実績	平成22年8月から、全国の自治体では2番目となるタンDEM検査を導入し、対象疾患を従来の6疾患から26疾患に拡充し、新生児マススクリーニングを継続して行った。 <新生児（生後4-6日）> 対象疾患：先天性代謝異常等 受検者数：16,474 患者数：26 <乳児（生後1か月）> 対象疾患：担当閉鎖症 受検者数：14,503 患者数：0 <幼児（生後1歳6か月）> 対象疾患：神経芽腫 受検者数：9,547 患者数：1 <妊婦> 対象疾患：甲状腺機能異常 受検者数：9,375 患者数：35 この他、平成24年度から、マススクリーニング関連し移管の患児または疾患が疑われる児に対して、治療状態の把握又は診断補助のための依頼検査を開始し、市内の医療機関の依頼に基づいて、970件の検査を行った。
	みとお 見通し	平成27年度と同様に検査を実施する予定。 検査件数も同程度を見込んでいる。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくえいせいけんきゅうじよ 保健福祉局衛生研究所

分野3 保健・医療

基本施策1 障がいの原因となる疾病の予防対策、早期発見・早期療育の充実

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	にゅうじ けんこう しんさ 乳児健康診査
3	もくてき ないよう 目的・内容	4か月児、10か月児（再来）、1再6か月児、3歳児、 5歳児に対して健康診査を実施することにより、運動機能、 視聴覚等の障がい、精神発達の遅滞等障がい等を持った児を 早期に発見し、適切な指導を行い、障がい及び社会的不利を 軽減するとともに、育児に関する指導を行い、乳幼児の健康 の保持及び増進を図る。
	じっせき 実績	4か月児健診 受診者数 実14,301人 延15,668人 1歳6か月児健診 受診者数 実13,983人 延15,379人 3歳児健診 受診者数 実13,740人 延14,148人 5歳児健診 受診者数 実 618人 延 619人
	みとお 見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	たんとう ぶ 担当部	保健福祉局保健所

番号	重点取組名	子どものころとからだに関する医療提供体制の充実
4	目的・内容	障がいの原因となる疾病の早期発見、早期療育や重複障がい児への適切な医療支援体制を構築するため、平成27年4月に児童心療センターと発達医療センターの機能を統合した子ども心身医療センターを開設する。
	実績	平成27年4月開設
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野3 保健・医療

基本施策2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	じりつ しえん いりよう 自立支援医療（育成医療）
1	もくてき ないよう 目的・内容	しょうがいしゃ そうごう しえん ほう しょうがいしゃ にちじょうせいかつ およ しゃかい せいかつ そうごう 障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合 てき しえん ほう きてい しんたい しょう 的に支援するための法）の規定により、身体に障がいのある じどう どう けんぜん いくせい ほか 児童等の健全な育成を図る。 しょう また げんぞん しっかん ほうち しょう のこ 障がいのある又は現存する疾患を放置すると障がいを残す みと じどう たいしょう しゅじゅつ せいかつ のうりよく かい と認められる児童を対象に、手術などにより、生活能力を回 ふく ひつよう いりようひ しきゆう してい いくせい いりよう きかん 復するために必要な医療費の支給を指定育成医療機関におい おこな て行う。
	じっせき 実績	けんすう けん 〇レセプト件数 1, 930件 しっかん くぶん しはらい けつてい じつ じんいん 疾患区分ごとの支払決定実人員 • しかく しょうがい 40 名 めい • ちょうかく へいこう きのう しょうがい 9 名 めい • おんせい げんご きのう しょうがい 362 名 めい • したい ふじゆう 103 名 めい • しんぞう 56 名 めい • じんぞう 2 名 めい • しょうちょう 3 名 めい • かんぞう 2 名 めい • た ないぞう しょうがい 6 名 めい • めんえき きのう しょうがい 0 名 めい （計583名）
	みとお 見通し	〇レセプト件数1912件
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょく ほけんじょ 保健福祉局保健所

分野3 保健・医療

基本施策2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

番号	重点取組名	自立支援医療（更生医療）
1	目的・内容	身体に障がいのある方に対し、その障がいの軽減を図り、自立と社会経済活動への参加の促進を図るために必要な医療について、自立支援医療費の支給を行う。
	実績	46,692件について支給決定を行い、4,233,685千円の自立支援医療費を支給した。 ※件数はレセプト数。事業費の1/2は障害者医療費国庫負担金、1/4は障害者医療費道費負担金。
	見通し	対象者の増加に伴い、自立支援医療費は増加する見通し。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	重度心身障がい者医療費助成
2	目的・内容	重度心身障がいのある方の保健の向上や福祉の増進を図るために、医療費の一部を助成する。
	実績	受給者 40,755人（一人あたり助成額 125,832円） 助成件数 945,512件（一件あたり助成額 5,424円）
	見通し	27年度と同程度を予定。 <28年度予算> 事業費 5,046,999千円 受給者数 40,786人 （一人あたり助成額 123,743円） 助成件数 969,284件 （一件あたり助成額 5,207円）
	担当部	保健福祉局医療保険部

分野3 保健・医療

基本施策2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	いりょうてき ひつよう じゅうしょう しんしん しょう 医療的ケアが必要な重症 心身障がいのある方に対する ちいき せいかつ しえん じゅうじつ けんとう さいけい 地域生活支援の充実の検討（再掲）
3	もくてき ないよう 目的・内容	12ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	いりょう けいかく すいしん さっぽろ医療計画の推進
4	もくてき ないよう 目的・内容	しみん しょうがいの つう けんこう あんしん く しゃかい じつげん 市民が生涯を通して健康で安心して暮らせる社会の実現に む いりょう かくりつ けいかく しんこう かんり もく 向けた医療システムの確立をめざし、計画の進行管理や、目 てき たっせい かんれん じぎょう じっし 的達成のための関連事業を実施。 しょう しゃ ほけん ふくし けいかく かんれん じぎょう いか 障がい者保健福祉計画に関連する事業は以下のとおり。 きゅうきゅうりょう たいせい あんていてき うんよう ○救急医療体制の安定的な運用 きゅうきゅうあんしん うんえい ○救急安心センターさっぽろの運営 だいきぼ さいがい じ いりょう きゅうえんたいせい きょうか ○大規模災害時の医療救援体制の強化 ざいたく いりょう しえん たいせい きょうか ○在宅医療支援体制の強化
	じっせき 実績	きゅうきゅうりょう たいせい あんていてき うんよう ○救急医療体制の安定的な運用 - きゅうきゅうりょう しかん せいど うんえい せんえん ・救急医療機関制度の運営（416,008千円） - やかん きゅうびょう うんえい せんえん ・夜間急病センターの運営（806,803千円） - こうくう しんりょう うんえい ほじょ せんえん ・口腔診療センターの運営補助（57,669千円） きゅうきゅう あんしん うんえい せんえん ○救急 安心センターさっぽろの運営（110,244千円） だいきぼ さいがい じ いりょう きゅうえんたいせい きょうか せんえん ○大規模災害時の医療救援体制の強化（2,648千円） ざいたく いりょう しえん たいせい きょうか せんえん ○在宅医療支援体制の強化（5,406千円） - いりょう じゅうじしゃ じんざい いくせい ・医療従事者の人材育成 いしし かんごし どう たい けんしゅうかい かいさい 医師、看護師等に対する研修会を開催 ざいたく いりょう ていきょうたいせい こうちく む けんとう ・在宅医療提供体制の構築に向けた検討など きょうぎかい せっち かいさい かんけいだんたいかん いけん こうかん かい せんしん じれ 協議会の設置・開催、関係団体間の意見交換会、先進事 い ちょうさ じっし 例調査を実施

みとお 見通し	きゅうきゅう いりよう たいせい あんていてき うんよう ○救急 医療体制の安定的な運用 - きゅうきゅう いりよう きかん せいど うんえい せんえん ・救急医療機関制度の運営（421,412千円） - やかん きゅうびよう うんえい せんえん ・夜間急病センターの運営（822,369千円） - こうくう しんりよう うんえい ほじよ せんえん ・口腔診療センターの運営補助（57,669千円） きゅうきゅう あんしん うんえい せんえん ○救急 安心センターさっぽろの運営（111,626千円） だいきぼ さいがい じ いりよう きゅうえんたいせい きょうか せんえん ○大規模災害時の医療救援体制の強化（2,516千円） ざいたく いりよう しえん たいせい きょうか せんえん ○在宅医療支援体制の強化（20,800千円） - いりよう じゅうじしゃ じんざい いくせい ・医療従事者の人材育成 - ざいたく いりよう ていきょうたいせい こうちく ・在宅医療提供体制の構築
たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょく ほけんじよ 保健福祉局保健所

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	けんこう だいに にじ すいしん 健康さっぽろ21（第二次）の推進
5	もくてき ないよう 目的・内容	「市民が地域とのつながりの中で、すこやかに心豊かに生活できる社会の実現」を基本理念とし、全体目標の一つに「健康格差の縮小」を掲げ、疾病や障がいの有無等にかかわらず、より多くの人々が健康づくりに取り組めるよう、地域・企業・関係機関と連携し、健康づくりを支援する。
	じっせき 実績	- けんこう だいに にじ さくせい ・「健康さっぽろ21（第二次）」アクションガイドを作成し、市民に周知。 - さっぽろし けんこう すいしん きょうぎかい とりくみ じぎょう しんちよく ・札幌市健康づくり推進協議会にて、取組事業について進捗報告。
	みとお 見通し	へいせい ねんど どうよう さっぽろし けんこう すいしん きょうぎかい 平成27年度と同様、札幌市健康づくり推進協議会にて、取組の進捗状況、評価を継続する。平成30年度の中間評価に向け、平成29年度は市民意識調査を実施予定。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょく ほけんじよ 保健福祉局保健所

分野3 保健・医療

基本施策3 精神保健・医療の充実

番号	重点取組名	自立支援医療（精神通院医療）
1	目的・内容	精神に障がいがあり（てんかんを含む）、通院による精神医療を継続的に要する病状にある方に対し、その通院医療に係る自立支援医療費の支給を行う。
	実績	740,314件について支給決定を行い、8,665,548千円の自立支援医療費を支給した。 ※件数はレセプト数。事業費の1/2は障害者医療費国庫負担金。
	見通し	対象者の増加に伴い、自立支援医療費は増加する見通し。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野3 保健・医療

基本施策3 精神保健・医療の充実

番号	重点取組名	精神科救急 情報センター運営
2	目的・内容	精神科救急 情報センターでは、専門の相談員が電話相談により、精神障がいのある人やその家族から緊急の精神科医療が必要と考えられる事例について相談を受け、必要に応じ、情報提供や精神科当番病院への受診調整を行う。また、精神科救急の円滑な推進のため、警察・消防・医療機関等関係機関との調整を図る。
	実績	相談取扱 件数：4,306件
	見通し	平成27年度と同規模、同内容で行っている。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	ほっとけない・こころ推進事業（自殺総合対策事業）
	目的・内容	「ひとりでも多くの命を救う」ため、総合的かつ継続的な自殺対策として、人材養成事業や電話等による相談支援事業、普及啓発、自殺未遂者対策、及び各区における地域密着型事業等を実施する。
		○若年層対策事業 ・若年層向け自殺対策に係る普及啓発（現状調査及び若年層向けWEBサイト・啓発物の作成） ○ハイリスク者支援事業 ・自殺未遂者対策事業（専門職向け研修会開催。参加者数：30人） ○その他地域の実情に応じた強化事業 ・心の健康づくり電話相談時間延長（年間相談件数：2,928件）

3	じっせき 実績	・相談業務担当者及び専門職等に対する人材養成事業 ☆“ほっとけない”カード研修：3回開催。参加者総数：128人 ☆子ども理解に関わる研修会（教育委員会との共催）：2回開催。参加者総数：624人 ☆いのちを守る地域連携研修会（札幌司法書士会との共催）：参加者数：42人 ☆未成年者・高齢者・女性等、テーマごとの研修会を開催（参加者総数：283人） ☆自死遺族支援研修会（参加者数：27人） ・市民向け研修及び地域の団体等との連携事業 ☆市民向けゲートキーパー研修会（参加者数：176人） ☆シンポジウム「うつをこえて」（参加者数：133人） ☆借金・就職・健康無料相談会の開催 ☆アルコール依存と自殺に関する市民向け講演会（参加者数：110人） ○その他啓発事業 ・ほっとけない・こころの健康づくり講演会 ハーモニーミーティング（参加者数：134人） ・地下鉄駅掲示板へのポスター掲出、いのちのパネル展（中央図書館との共催） ・地域密着型自殺対策事業（パネル展・啓発品作成等）
	みとお 見通し	28年度は国の交付金の率が大幅に縮小（1/2、2/3のほか、限定的に10/10）されるため、更に費用対効果を意識した事業選択をする必要がある。 事業規模はほぼ同程度を予定。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよくしょう 保健福祉局障がい保健福祉部

基本施策3 精神保健・医療の充実

35

分野4 生活環境

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	福祉のまちづくり推進会議
1	目的・内容	全ての市民が安心して快適に暮らせるまちづくりを進めるため、市民や事業者等から幅広く意見を聞き、ともに考えながら福祉のまちづくりを総合的に推進することを目的としている。 本市からの諮問に応じて福祉のまちづくりに関する重要事項を調査、審議し施策に反映していくとともに、市民に対する情報発信を積極的に行う。
	実績	・全体会議 1 回開催 ・公募委員選考委員会 1 回開催 ・優しさと思いやりのバリアフリー部会 部会を1 回開催、及び部会委員が優しさと思いやりのバリアフリーに関する公共的施設のバリアフリーチェックに2 回参加
	見通し	全体会議を2 回、及び部会を必要に応じて開催する予定。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	優しさと思いやりのバリアフリーの推進
2	目的・内容	公共的施設のバリアフリー化を進めるに当たり、数値基準や明文化された基準にとどまらず、優しさと思いやりの視点に立ち、人の目や感覚を活用して施設の整備を進めることにより、福祉のまちづくりの推進を図ることを目的としている。 札幌市が新たに施設を整備する際に、障がいのある方や高齢の方の力を借りて、人の目や感覚で確認する「公共的施設のバリアフリーチェック」と、多くの人が利用する施設の事故を未然に防ぎ、安全な施設となるように、危険な箇所を早期に発見するための「危険施設等通報システム」の運用を行っている。
	実績	- 中央体育館改築事業（設計段階） - 苗穂駅周辺地区整備事業（設計段階） - 西2丁目地下歩道整備事業（設計段階） について、バリアフリーチェックを実施
	見通し	「公共的施設のバリアフリーチェック」と「危険施設等通報システム」の運用を引き続き行う。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野4 生活環境

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	バリアフリー基本構想に基づく整備推進
3	目的・内容	新・札幌市バリアフリー基本構想に基づき、すべての人々が安心して暮らし、分け隔てなく社会活動に参加できるまちづくりを目指し、総合的かつ一体的なバリアフリー化を促進している。 『新・バリアフリー基本構想』及び基本構想に基づく実行計画である『新・札幌市バリアフリー特定事業計画』の段階的・継続的な発展（スパイラルアップ）を図っている。
	実績	・「新・札幌市バリアフリー特定事業計画」の進捗管理
	見通し	・「新・札幌市バリアフリー特定事業計画」の進捗管理
	担当部	まちづくり政策局総合交通計画部

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	こうつう すいしん じぎょう 交通バリアフリー推進事業
4	もくてき ないよう 目的・内容	しょう かがた こうれい かがた こうきょう こうつう きかん りよう いど 障がいのある方や高齢の方等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性及び安全性の向上の推進を図るため、公共交通事業者が行うバリアフリー化整備について国と協調して補助を行うことで、各管理者と連携しながら取り組みを進める。 ● ノンステップバスの導入補助事業・・・ノンステップバスを導入する乗合バス事業者に対する補助
	じっせき 実績	ノンステップバスの導入補助事業 補助対象予定台数 10台
	みとお 見通し	● ノンステップバスの導入補助事業 補助対象予定台数 10台分 ● バスロケーションシステムの導入補助を実施予定
	たんとう ぶ 担当部	まちづくり政策局総合交通計画部

分野4 生活環境

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	歩道バリアフリー整備事業
5	目的・内容	誰もが安心して歩行できる歩道を提供するため、重点整備地区の生活関連経路の歩道バリアフリー化を推進する。 ・重点整備地区：都心地区、厚別副都心地区、麻生地区など、計53地区 ・生活関連経路：新・バリアフリー基本構想の平成26年度末見直し時点における札幌市がバリアフリー化を行うべき路線 約231km
	実績	延長約10kmの歩道バリアフリー工事を実施した。
	見通し	延長約8kmの歩道バリアフリー工事を実施予定。
	担当部	建設局土木部

番号	重点取組名	安全・安心な公園再整備事業
6	目的・内容	障がいのある人や高齢者など誰もが快適に利用できる公園整備を進める。出入口・園路段差解消や階段の手すり設置、ベンチなどの休養施設、身障者対応型便所の改修等を行う。
	実績	出入口や園路等のバリアフリー化や身障者対応型便所の改修を実施
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	担当部	建設局みどりの推進部

分野4 生活環境

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	市有施設の保全改修に併せたバリアフリー改善の推進
7	目的・内容	バリアフリー法及び新・札幌市バリアフリー基本構想を踏まえ、既存の市有特別特定建築物の保全改修に併せてバリアフリー改善を進める。
	実績	市有建築物の保全改修に併せて、バリアフリー改善工事を行った。（7施設）
	見通し	市有建築物の保全改修に併せて、バリアフリー改善工事を行う。（8施設）
	担当部	都市局建築部

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ちかてつ しでん 地下鉄・市電における安全対策
8	もくてき・ないよう 目的・内容	ちかてつ えき かどうしき さく せっち 地下鉄駅ホームに可動式ホーム柵を設置し、ホームからの りょかく てんらく じこ れつしゃ せつしよく じこ ぼうし 旅客転落事故や列車接触事故などを防止することにつとめ、 しょう かた としよ かたとう あんぜん あんしん ちかてつ 障がいのある方やお年寄りの方等が安全で安心して地下鉄を りよう 利用できるようにする。 また、しょう かた としよ かたとう あんしん ちかてつ また、障がいのある方やお年寄りの方等が安心して地下鉄 りよう ちかてつ りようきやく たい しせつとう りよう ほう を利用できるよう、地下鉄利用客に対して、施設等の利用方 ほう しゅうち きょうりよくいらい こうじよう よ おこな 法の周知・協力依頼・マナー向上などの呼びかけを行う。 しでん ろめん でんしゃ かつよう けいかく もと しょう しゃ 市電については、路面電車活用計画に基づき、障がい者や こうれいしゃ とく あんぜん ろめんでんしゃ りよう ていしょうしゃ 高齢者等だれもが安全に路面電車を利用できるよう、低床車 りよう どうにゅう およ でんしゃ ていりゅうじよう か はか 両の導入 及び電車停留場のバリアフリー化を図る。
	じっせき 実績	とうほうせん かどうしき さく へいせい ねんど せっち む じゅんびさぎよ 東豊線可動式ホーム柵の平成28年度設置に向けた準備作 う はいせん む とく おこな 業（配線、コア抜き等）を行った。 また、こうじようとう えきこうない およ ちかてつ えきしゃない また、マナー向上等については、駅構内及び地下鉄駅車内 てきぎ あんない ほうそう おこな りようしゃ よ おこな において、適宜案内放送を行い、利用者に呼びかけを行っ た。 しでん へいせい ねん ていしょうしゃりよう どうにゅうじっせき 市電については、平成27年の低床車両の導入実績はな し。 ていりゅうじよ としん せん か かいぎよう ともな かき 停留所においては、都心線ループ化開業に伴い、下記のバ リアフリー化整備を実施した。 ・ たぬきこうじ ていりゅうじよう しんせつ 狸小路停留場の新設 ・ にし ちょうめ ていりゅうじよう かいしゅう 西4丁目、すすきの停留場の改修
	みとお 見通し	とうほうせん かどうしき さく せっち さぎよう おこな 東豊線可動式ホーム柵の設置作業を行う。 マナー しゅうち とく ぜんねんど どうよう ひ つづ おこな マナー周知等については、前年度同様引き続き行う。 しでん へいせい ねんど ていしょうしゃりよう どうにゅう よてい 市電については平成28年度の低床車両の導入予定はな し。 こんご ろめん でんしゃ かつよう けいかく もと ていしょうしゃりよう どうにゅう よて 今後、路面電車活用計画に基づき、低床車両を導入する予 定。 ていりゅうじよう しせいかん しょうがっこう まえていりゅうじよう 停留場においては、資生館小学校前停留場のバリアフリー か こうじ じっし よてい へいせい ねんど いりぐち そと 化工事を実施予定。平成29年度にはロープウェイ入口（外 まわ ていりゅうじよう か こうじ じっし よてい 回り）停留場のバリアフリー化工事を実施予定。
	たんとう ぶ 担当部	こうつうきよく こうそく でんしゃ ぶ 交通局高速電車部

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	安全な自転車利用環境の推進①
9	目的・内容	平成23年5月に策定した「札幌市自転車利用総合計画」に基づき、歩行者や自転車との交錯という課題解消を目指し、障がいのある方をはじめ、市民の方にとって「安全な自転車利用環境の実現による魅力的なまちづくり」を目標として、自転車・歩行者・自動車それぞれが安心・安全に通行できる環境を実現するため、ルール・マナーの効果的な周知と啓発を図る。
	実績	札幌市交通安全運動推進委員会が実施する交通安全教室を幼児79,778人、小学生88,859人、中高生2,585人、高齢者7,946人が受講し、自転車の利用ルール・マナーについて啓発したほか、自転車教室を1,657人が受講した（人数は延数）。 また、自転車と歩行者が多い都心部の札幌駅前通にて「自転車押し歩きキャンペーン」を本格的に開始し、初年度は9月1日～10月31日まで1日3時間、自転車の利用者に対し、啓発員が自転車の押し歩きを呼び掛け、歩道は歩行者優先であるという意識の啓発活動を行った。
	見通し	自転車利用総合計画（平成23年5月策定）に基づき、既存の啓発活動を継続するとともに、アクションプラン2015に基づき、取組を着実に進める。 1 札幌市のホームページ上に平成25年春に開設した「さっぽろバーチャル自転車教室」の更なる普及活動 2 自転車の押し歩き地区の引き続きの運用 3 交通安全教育指導員や交通安全指導員を活用した街頭啓発活動の強化 4 交通安全教室、自転車実技教室や出前講座（生徒、一般）の実施 5 市内高等学校において、スタントマンが事故を再現する自転車交通安全教室の実施
	担当部	市民文化局地域振興部

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	あんぜん じてんしゃ りよう かんきょう すいしん 安全な自転車利用環境の推進②
9	もくてき ないよう 目的・内容	ほどうじょう へこうしゃ こうさく めいわくちゅうりん へこうかんきょう 歩道上における歩行者との交錯や迷惑駐輪による歩行環境 の悪化などの課題解消をめざし、障がいのある方をはじめ市 民の方にとって「安全な自転車利用環境の実現による魅力的 なまちづくり」を目標として、自転車・歩行者・自動車それ ぞれが安心・安全に通行できる環境を実現するため、「自転 車走行空間の明確化」、「総合的な駐輪対策の推進」、 「ルール・マナーの効果的な周知と啓発」を図ります。
	じっせき 実績	としんぶ ちゅうりんば せいび かしょ ・都心部駐輪場整備（1箇所） こうがい えきちゅうりんば せいび かしょ ・郊外駅駐輪場整備（3箇所） ほうち きんし くいき してい かしょ ・放置禁止区域指定（1箇所） としんぶ えきしゅうへんどう ろじょう ほうち じてんしゃ てつきよ ・都心部および駅周辺等における路上放置自転車の撤去 ゆうどう せいりいん ろじょう ほうち じてんしゃ せいり ちゅうりん けい ・誘導整理員による路上放置自転車の整理や駐輪マナーの啓 発 じてんしゃ つうこう ぐかん けいかく けんどう ・自転車通行空間ネットワーク計画検討
	みとお 見通し	としんぶ ちゅうりんば せいび かしょ ・都心部駐輪場整備（3箇所） こうがい えきちゅうりんば せいび かしょ ・郊外駅駐輪場整備（2箇所） ほうち きんし くいき かしょ ・放置禁止区域（2箇所） としんぶ えきしゅうへんどう ろじょう ほうち じてんしゃ てつきよ ・都心部および駅周辺等における路上放置自転車の撤去 ゆうどう せいりいん ろじょう ほうち じてんしゃ せいり ちゅうりん けい ・誘導整理員による路上放置自転車の整理や駐輪マナーの啓 発 じてんしゃ つうこう ぐかん けいかく けんどう ・自転車通行空間ネットワーク計画検討
	たんとう ぶ 担当部	けんせつきょく そうむ ぶ 建設局総務部

分野4 生活環境

基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

番号	重点取組名	車椅子使用者向け市営住宅の整備（再掲）
10	目的・内容	48ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	都市局市街地整備部

番号	重点取組名	福祉のまちづくり施設整備資金融資 （民間施設改善資金貸付金等）
11	目的・内容	福祉のまちづくり条例の施設整備基準を満たす施設を増やし、障がいのある方や高齢の方等が社会参加しやすい環境作りを図ることを目的としている。 民間事業者による公共的施設の整備、改善を推進するため、エレベーター、玄関スロープ設置等バリアフリー化工事に対して融資を行う。
	実績	新規融資なし、融資残高に対する預託及び利子補助
	見通し	融資枠 40,000千円（1件あたり融資限度額20,000千円）として募集
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野4 生活環境

基本施策2 住まいの確保

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	あんしん ちんたい しえん じぎょう ふきゆう あんしん賃貸支援事業の普及
1	もくてき ないよう 目的・内容	みんかん じゅうたくかんけいじぎょうしゃ たい ほっかいどう ちんたいしえん 民間の住宅関係事業者に対して「北海道あんしん賃貸支援 事業」の周知を行い、高齢の方や障がいのある方などを受け 入れる民間賃貸住宅の登録を促す。
	じっせき 実績	1 ほっかいどう ちんたいじゅうたく けん 北海道あんしん賃貸住宅 170件（1,428戸） 2 きょうりょくてん けん 協力店 283件 3 きょじゅうしえんだんたい だんたい 居住支援団体 17団体 4 ちんたいじゅうたく たい ほじょ けん 賃貸住宅に対するエコリフォーム補助 3件
	みとお 見通し	1 ほっかいどう ちんたいじゅうたく けん 北海道あんしん賃貸住宅 176件（1,435戸） 2 きょうりょくてん けん 協力店 284件 3 きょじゅうしえんだんたい だんたい 居住支援団体 17団体 4 ちんたいじゅうたく たい ほじょ けん 賃貸住宅に対するエコリフォーム補助 8件
	たんとう ぶ 担当部	とし きょく しがいち せいび ぶ 都市局市街地整備部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	グループホーム等の整備推進（再掲）
2	もくてき ないよう 目的・内容	19ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょく せいび ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	じゅうたく かくほ よう はいりょ しゃ たい じゅうきょ あんてい かくほ とりくみ 住宅確保要配慮者に対する住居の安定確保の取組
3	もくてき ないよう 目的・内容	しえい じゅうたくちゅうせんじ ゆうぐう およ せいしんしょう また ちてき しょう たん 市営住宅抽選時の優遇及び精神障がい又は知的障がいの単 身者の新規受入れを行うことにより、公的賃貸住宅において しんしゃ しんき うけい おこな こうてき ちんたい じゅうたく 住宅セーフティネット（安全策）を構築し、高齢の方、障が いのある方など住宅確保要配慮者の住居の安定確保を目指し ます。 ちゅうせんじ ゆうぐう [抽選時の優遇] もうしこみねんすう およ せたい じょうきょう こうりょ しょう しゃ どう しえい じゅうたく 申込年数及び世帯状況を考慮して、障がい者等の市営住宅 への優遇入居を推進する。 ねんすう ゆうぐう ねんめ いこう こ ねんめい 年数による優遇として、2年目以降から1個ずつ、6年目 以降から2個ずつ、10年目から3個ずつ、抽選番号を増や す。また、世帯状況による優遇として、障がい者世帯、多家 族世帯、高齢者世帯等についてそれぞれの状況に応じて抽選 ばんごう ふ 番号を増やす。 せいしんしょう また ちてき しょう たんしんしゃ うけい [精神障がい又は知的障がいのある単身者の受入れについて] さっぽろ しえい じゅうたく たんしんしゃ にゅうきょ てつづ どう かん じむ 「札幌市営住宅における単身者の入居手続き等に関する事 務処理要綱」に基づき、しえい じゅうたく もう こ おこな どうせんしゃ 市営住宅へ申し込みを行った当選者 のうち、住宅課が札幌市営住宅条例第5条の入居資格・条件 を具備していると判断した場合は、入居を可としました。
	じっせき 実績	ちゅうせんじ ゆうぐう [抽選時の優遇] ねんめいこう こ ねんめ いこう こ 2年目以降から1個ずつ、6年目以降から2個ずつ、10 ねんめいこう こ ちゅうせんばんごう ふ とくべつ しょう 年目以降から3個ずつ、抽選番号が増え、さらに特別障がい せたい こ ふつう しょう しゃ せたい どう こ た 1 世帯は3個、普通障がい者世帯等は2個、その他は1個ずつ ちゅうせんばんごう ふ どうせん かくりつ あ 抽選番号が増え、当選確率を上げている。 せいしんしょう また ちてき しょう たんしんしゃ うけい [精神障がい又は知的障がいのある単身者の受入れについて] けん にゅうきょしんせい たい けん にゅうきょ きょか 4件の入居申請に対して、2件の入居を許可した。
	みとお 見通し	ちゅうせんじ ゆうぐう およ せいしんしょう また ちてき しょう たんしんしゃ 抽選時の優遇及び精神障がい又は知的障がいのある単身者 の入居について、へいせい ねんど どうよう きじゅん けいぞく 平成27年度と同様の基準で継続する。
	たんとう ぶ 担当部	とし きょく しがいち せいび ぶ 都市局市街地整備部

分野4 生活環境

基本施策2 住まいの確保

番号	重点取組名	車椅子利用者向け市営住宅の整備
4	目的・内容	障がい者（車椅子利用者）の生活の基盤である住宅を確保し、自立と社会参加を促進するため、障がい者（車椅子利用者）を対象にした単身向け住宅、世帯向け住宅の供給を行う。
	実績	(着工ベース) ○車椅子単身向け 2戸（うち月寒団地1戸、発寒団地1戸） ○車椅子世帯向け 3戸（うち月寒団地1戸、発寒団地2戸） 合計 5戸
	見通し	(着工ベース) 平成28年度 ○車椅子単身向け 2戸（うち月寒団地1戸、発寒団地1戸） ○車椅子世帯向け 2戸（うち月寒団地1戸、発寒団地1戸） 合計 4戸
	担当部	都市局市街地整備部

分野5 教育・発達支援

基本施策1 ライフステージに応じた相談支援体制の充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ようじ きょういく そうだん 幼児教育相談
1	もくてき ないよう 目的・内容	はつたつ しんばい 発達に心配のある幼児や子育てに関して、ようじ きょういく 幼児教育センターにおける来所相談のほか、かくく しりつ ようちえん 各区の市立幼稚園を会場とした「ちいき きょういく そうだん 地域教育相談」を実施する。
	じっせき 実績	ようじ きょういく 幼児教育センター らいしよ そうだん けんすう 来所相談件数 1,346件 ちいき きょういく そうだん 地域教育相談 3,224件
	みとお 見通し	へいせい ねんど どう ないよう よてい 平成27年度と同内容を予定
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いいんかい がっこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ひとり ひとり まな そだ 一人一人が学び育つための教育的支援の充実（再掲）
2	もくてき ないよう 目的・内容	57ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いいんかい がっこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

ぶんや 分野5 きょういく はつたつ しえん
教育・発達支援

きほん しやく 基本施策1 ライフステージに^{おう}応じた^{そうだん しえん たいせい}相談支援体制の^{じゅうじつ}充実

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	じどう ふくし そうだん しえん たいせい きょうか 児童福祉相談・支援体制の強化
3	もくてき ないよう 目的・内容	
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんどう ぶ 担当部	こ みらい きょく じどう そうだん じょ 子ども未来局児童相談所

分野5 教育・発達支援

基本施策1 ライフステージに応じた相談支援体制の充実

番号	重点取組名	子どもの権利救済機関の運営
4	目的・内容	子どもに関する相談に幅広く応じ、適切な助言や支援を行うとともに、権利侵害からの救済の申立てなどに基づき、その子どもの最善の利益の実現を図るため、問題解決に向けた調査や関係者間の調整を行う。
	実績	相談受付件数：実件数1,000件、延べ件数4,074件 調整活動件数：30件（延べ433回） 救済申立て件数：2件（平成26年度より継続調査した案件）
	見通し	子どもの権利侵害からの救済が迅速に図られるよう、引き続き制度の適切な運用に努める。
	担当部	子ども未来局子どもの権利救済事務局

番号	重点取組名	発達障害者支援体制整備事業（再掲）
5	目的・内容	17ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野5 教育・発達支援

基本施策2 早期療育の充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しりつ ようちえん とくべつ しえん きょういく じぎょう 私立幼稚園特別支援教育事業
1	もくてき 目的・内容	しりつ ようちえん とくべつ きょういくてき しえん ひつよう ようじ えんかつ 私立幼稚園で特別な教育的支援を必要とする幼児の円滑な う い 受け入れを促進するため、しりつ ようちえん ようじ きょういく しえんいん しり つ ようちえん ほうもん こべつ しどう けいかく さくせい しえん きょういんそうだん 立幼稚園を訪問し、個別の指導計画の作成支援や教員相談を おこな とくべつ しえん きょういく たんとうしゃ む けんしゅうかい じっし 行うとともに、特別支援教育担当者向け研修会を実施するな ど、しりつ ようちえん しえんたいせい こうちく とくべつ しえん きょういく しつてき こうじょう 立幼稚園の支援体制の構築と特別支援教育の質的向上 をはか を図る。
	じっせき 実績	ようちえん ほうもん しえん けんすう けん たいしやう ようじすう 幼稚園訪問支援件数 789件 対象幼児数 4,235人 けんしゅうかい さんか にんずう 研修会参加人数 884人 実施回数 5回
	みとお 見通し	へいせい ねんど どう ないよう よてい 平成27年度と同内容を予定
	たんとう ぶ 担当部	きょういく しいんかい がっこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しょう じ ほういく じゅんかいしどう 障がい児保育巡回指導
2	もくてき 目的・内容	しんしん しょう ゆう じどう ほか じどう しゅうだん ほういく 心身に障がいをもつ児童を他の児童とともに集団保育す ることにより、しょう じ せいちやうはつたつ そくしん じどう 障がい児の成長発達を促進するとともに児童 の福祉の増進を図る。 じっし しせつ など しょう じ ほういく じゅうじつ ほか 実施施設等においては、障がい児保育の充実を図るため、 りんしやうはつたつ しんり し せんもんてき ちしき ゆう せんもんいん じゅんかい 臨床発達心理士など専門的な知識を有する専門員による巡回 しどう おこな ほういくしゃ ひつよう おう たい しどう 指導を行い、保育者（必要に応じて保護者）に対して指導・ じよげん おこな 助言を行う。
	じっせき 実績	にんか ほういく しょ えん にんてい えん ふく ちいきがた ほういく じぎょ 認可保育所275園（認定こども園含む）、地域型保育事 業所58園中、しょう じ う い えん 障がい児の受け入れは150園339名である。 じゅうどしょう じ めい ていど おも しょう じ う い ねんねん 重度障がい児32名と程度の重い障がい児受け入れが年々 ぞうか ぜんねん めい じゅんかいしどう かいすう かい じっし 増加している。（前年28名）巡回指導回数は320回実施し た。しょう じ にんてい じどう そうだん けん しょう じ みにんてい じどう そう 障がい児認定児童相談391件、障がい児未認定児童相 だん けん 談562件。
	みとお 見通し	しょう じ う い しせつ ぞうか ともな にゅうしょ じどう すう ぞうか およ 障がい児受け入れ施設の増加に伴い、入所児童数の増加及 び相談件数の増加が予想される。じゅんかいしどう せんもんいん めい ふ 巡回指導専門員を1名増や し、5名で巡回指導体制強化を行う。 めい じゅんかいしどう たいせい きやうか おこな （平成27年度の見込み 340回）
	たんとう ぶ 担当部	こ みらい きよく こそだ しえん ぶ 子ども未来局子育て支援部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ほうかご じどう 放課後児童クラブ等における障がい児の受け入れ
3	もくてき 目的・内容	ほうかご じどう 放課後児童クラブが障がいのある子どもにとってもほうかご の居場所になるよう、(1) 児童会館・ミニ児童会館、 (2) 民間児童育成会、それぞれで次のような取組を行い、 クラブに障がい児が受け入れられるように取り組んでいる。 (1) 児童会館・ミニ児童会館：障がい児がクラブに参加する に当たり、どのような生活環境の調整が必要か、保護者、館 長、専門の相談員で相談を行う場を設けている。また、児童 クラブで障がいのある児童を受け入れる場合、指導員を加配 している。 (2) 民間児童育成会：国庫補助金の障がい児加算額に準じ、 障がいのある児童を受け入れている育成会に対して加算額を 助成。27年度(2定補正予算)からは、5名以上を受け入 れている育成会に対して更に加算した額を助成している。
	じっせき 実績	(1) 児童会館・ミニ児童会館 162館(463人) (2) 民間児童育成会 29か所(38人) (平成27年4月末現在)
	みとお 見通し	児童会館・ミニ児童会館にて障がい児を受け入れる際に見学 相談を行う専門の相談員の人数を増やし、見学相談をスム ーズに行うことができるようにしている。 具体的には平成27年度末に4名であったが、28年4月に 1名、6月に更に1名採用し、現在は6名の専門の相談員で 相談にあたっている。
	たんとう ぶ 担当部	こ ども 未来局 子ども 育成部

ぶんや 分野5 きょういく はったつ しえん
教育・発達支援

きほん しやく 基本施策2 そうき りょういく じゅうじつ
早期療育の充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	りょういく しどう 療育指導（療育支援事業、先天性障がい児早期療育事業）
4	もくてき ないよう 目的・内容	
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんどう ぶ 担当部	こ みらい きよく しどう そうだん じょ 子ども未来局児童相談所

分野5 教育・発達支援

基本施策2 早期療育の充実

番号	重点取組名	障害児通所支援サービスの円滑な提供
5	目的・内容	障がいのある児童や療育を必要とする児童に対し、通所による支援を実施。身近な地域における療育の場として「児童発達支援」と「医療型児童発達支援」、放課後等の居場所づくりとして「放課後等デイサービス」、保育所等の安定した利用を促進するための「保育所等訪問支援」を提供している。 - 児童発達支援、医療型児童発達支援 集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる未就学の障がい児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行う。医療型は、これに併せて治療も行う。 - 放課後等デイサービス 学校に就学しており、授業の終了後又は休業日に支援が必要と認められる障がい児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練、地域との交流などを行う。 - 保育所等訪問支援 保育所など児童が集団生活を営む施設に通う障がい児について、専門職員が保育所などに訪問し、集団での生活に必要な訓練やスタッフへの助言などを行う。
		1月あたりの平均利用実績 (平成27年4月～平成28年3月サービス提供分) - 児童発達支援 利用人数：2,342人 利用日数：24,891日 - 医療型児童発達支援 利用人数：48人 利用日数：393日 - 放課後等デイサービス 利用人数：3,496人 利用日数：33,802日 - 保育所等訪問支援 利用人数：36人 利用日数：46日
	見通し	障がいのある児童や療育を必要とする児童の増加に伴い、今後も本事業の増加が見込まれる。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

基本施策2 早期療育の充実

56

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ひとり ひとり まな そだ きょういくてき しえん じゅうじつ 一人一人が学び育つための教育的支援の充実
1	もくてき ないよう 目的・内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、学校において、障がいの程度や特性に応じた適切な教育を受けることができるよう、「さっぽろサポートファイル」の配付や、特別支援教育支援員（学びのサポーターなど）の活用等、校内支援体制の充実を図っている。 ○サポートファイルさっぽろ 乳幼児から成人までライフステージに応じた一貫した支援を行うため、障がい福祉課が所管している「サポートファイルさっぽろ」の活用などにより、一人一人に応じた教育的支援の充実を図る。 ○特別支援教育支援員（学びのサポーター）活用事業 小 中学校の通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、有償ボランティアである特別支援教育支援員（学びのサポーターなど）が、学校生活及び学習活動を行う上で必要となる支援を行う。
	じっせき 実績	○関係局などとの連携を図りながら、「サポートファイルさっぽろ」の学校での活用について、理解、啓発を図った。 ○学びのサポーター活用校数：274校 支援対象児童生徒数：1,511人 活用校一校あたりの学びのサポーター年間活用可能時間数：520時間
	みとお 見通し	○「サポートファイルさっぽろ」の学校での活用に向け、関係機関との連携を図りながら、一層の理解、啓発に努める。 ○活用校一校あたりの学びのサポーター年間活用可能時間数：580.8時間
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いんかい がっこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

分野5 教育・発達支援

基本施策3 学校教育の充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ちいき まな そだ 地域で学び育つための教育環境の整備
2	もくてき 目的・内容	こ 子どものニーズに応じた適切な教育が地域の学校で受けら れるよう、いちりつしょうちゅうがっこう 市立小中学校への特別支援学級の設置を推進し、 ちいき 地域での特別支援教育の充実を図る。
	じっせき 実績	とくべつ しえん がっきゅうかいせつじょうきょう 〇特別支援学級開設状況 しょうがっこう 19校 23学級 ちゅうがっこう 12校 14学級
	みとお 見通し	とくべつ しえん がっきゅうかいせつじょうきょう 〇特別支援学級開設状況 しょうがっこう 14校 14学級 ちゅうがっこう 11校 11学級
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いんかい がっこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しりつ こうとう しえん がっこう 市立高等支援学校における教育の充実
3	もくてき 目的・内容	しりつ こうとう しえん がっこう 市立高等支援学校において、しゅうろうそくしん はか 就労促進を図るための教育内 容の見直しについて検討を進める。
	じっせき 実績	しりつ ほうめい こうとう ようご がっこう 市立豊明高等養護学校をモデル校として、生徒の社会的自 立を目指した教育の充実を図るため、もんぶ かがくしょう 文部科学省の「キャリア教育・就労支援等の充実事業」を受諾し、しゅうろうしえん 就労支援コー ディネーターのはいち 配置やネットワークかいぎ 会議の開催、けんしゅうとう 研修等を実 施した。
	みとお 見通し	ひ つづ もんぶ かがくしょう 引き続き、文部科学省の「キャリア教育・就労支援等の充 実事業」を受諾するとともに、とよあき こうとう ようご がっこう 豊明高等養護学校の学科の再 編に向けたけんとう 検討をはじめめる。
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いんかい がっこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

分野5 教育・発達支援

基本施策4 卒業後の支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しりつ こうとう しょう がいこう 市立高等支援学校における教育の充実
1	もくてき ないよう 目的・内容	58ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	きょういく しいんかい がいこう きょういく ぶ 教育委員会学校教育部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しゅうろう そうだん しょう たいせい じゅうじつ 就労相談支援体制の充実 (しょう しゃしゅうぎょう せいかつ そうだん しょう じぎょう 障がい者就業・生活相談支援事業)
2	もくてき ないよう 目的・内容	60ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほうけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	そうだん しょう じぎょう じゅうじつ 相談支援事業の充実
3	もくてき ないよう 目的・内容	9ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほうけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野6 雇用・就労

基本施策1 個々のニーズに対応した就労相談支援体制の充実

ばんごう 番号	じゆうてんとりくみ めい 重点取組名	しゅうろう そうだん しえん たいせい じゅうじつ 就労相談支援体制の充実 (障がい者就業・生活相談支援事業)
1	もくてき ないよう 目的・内容	障がいのある方の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と連携して、ジョブサポーターや支援員による雇用促進・職場定着支援を図る。
	じっせき 実績	ジョブサポーター2名増の6名配置。相談件数28,657件、就職に結びついた件数157人。
	みとお 見通し	ジョブサポーター1名増の計7名配置。相談件数28,657件、就職に結びついた件数211人。 また、障がい者職業能力開発プロモーターが拠点事業所に配置されていることから、事業統合した。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよひょう 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゆうてんとりくみ めい 重点取組名	しゅう しゃしゅうぎょうしえん じぎょう 障がい者就業支援事業
2	もくてき ないよう 目的・内容	障がい者と求人企業との面接機会を提供することにより、障がい者の就職活動を支援し雇用促進を図ため、国（北海道労働局、札幌圏の公共職業安定所）との共催により、年2回の「障害者就職 面接会」を開催する。
	じっせき 実績	参加企業数：120社 参加者：437名 求人数：527名 面接件数：865件 就職者数：95名 ※第1回と第2回の合計値
	みとお 見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	たんとう ぶ 担当部	けいさい かんこうきょく こよう すいしん ぶ 経済観光局雇用推進部

分野6 雇用・就労

基本施策2 雇用の場の拡大（一般就労・福祉的就労）

番号	重点取組名	障がい者協働事業
1	目的・内容	障がい者を5人以上雇用し、他の従業者からサポートを受けながら共に働くことにより、事業としての収益性を確保しつつ、障がい者の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」の運営経費に対する補助を行う。
	実績	補助対象事業所22か所。障がい者雇用数124名。 ※27年度2か所事業所を増やし、10名の障がい者雇用へとつながった。
	見通し	補助対象事業所1か所の増の計23か所。 障がい者雇用数129名 ※28年度も引き続き、対象事業所を増やし、計23か所を目指す予定。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	資源選別センターにおける雇用の場の提供
2	目的・内容	駒岡資源選別センターにおけるびん・缶・ペットボトル手選別業務について、一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会に再委託することで、雇用の場を拡大することに寄与している。
	実績	駒岡資源選別センターにおけるびん・缶・ペットボトル手選別業務について、一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会に再委託している。
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	担当部	環境局 環境事業部

分野6 雇用・就労

基本施策2 雇用の場の拡大（一般就労・福祉的就労）

番号	重点取組名	就労支援サービスの円滑な提供
3	目的・内容	99～102ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野6 雇用・就労

基本施策3 福祉的就労における工賃向上

番号	重点取組名	製品の販路拡大支援
1	目的・内容	地域活動支援センター等の運営強化を図るために、製品のレベルアップや運営面の指導を行う。 また、障がいのある方が施設等で作った製品を販売する常設店舗として「元気ショップ」を設置運営し、製品の購入を通じた市民の障がいに対する理解促進と障がいのある方の工賃増額を目指す。
	実績	・元気ショップ 売上79,057千円、来客数142,884人 ・元気ショップいこ～る 売上27,978千円、来客数35,444人
	見通し	・元気ショップ： 売上目標83,000千円、来客目標152,816人 ・元気ショップいこ～る： 売上目標28,000千円、来客目標36,000人
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野6 雇用・就労

基本施策3 福祉的就労における工賃向上

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	はっちゅう きかい かくじゅう じゅちゅうちようせい しえん 発注機会の拡充、受注調整支援 (げんき うんえい じぎょう 元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業)
5	もくてき ないよう 目的・内容	しょう しゃ しせつとう おこな せいそう いんさつ えきむていきょう 障がい者施設等で行っている清掃・印刷などの役務提供 サービスや、ふうかんなどのけいさぎょうについて、かんこうちよう みんかんきぎょ 業等へのえいぎょう、かくせつ じゅちゅうちようせい どう おこな きの 業等への営業や、各施設への受注調整 等を行うセンター機 能をせっち うんえい しょう かた しゅうろう ば かくだい こうちん 能を設置、運営し、障がいのある方の就労の場の拡大、工賃 向上をめざす。
	じっせき 実績	じゅちゅう せいやく けんすう けん ・受注成約件数：933件 じゅちゅう せいやく きんがく せんえん ・受注成約金額：93,716千円
	みとお 見通し	じゅちゅう せいやく けんすう もくひょう けん ・受注成約件数目標：864件 じゅちゅう せいやく きんがく もくひょう せんえん ・受注成約金額目標：99,125千円
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野6 雇用・就労

基本施策4 福祉施設から一般就労への移行推進

番号	重点取組名	障がい者の就労・雇用に対する理解促進 (障がい者元気スキルアップ事業)
1	目的・内容	障がいのある方の一般就労の機会を確保し、職場定着率を高めるため、障がいのある方、障がい福祉サービス事業所、民間企業等に対して、より充実した研修を行うなど、障がい者雇用の推進を図る。
	実績	・元気スキルアップ事業により一般就職した障がい者数5名 ・獲得求人件数：14件 ・障がい者向けセミナー：6回 ・支援員向けセミナー：2回 ・企業向けセミナー：1回
	見通し	引き続き、企業開拓、障がい者向けセミナー・支援員向けセミナー・企業向けセミナーを実施。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	就労移行支援サービスの提供
2	目的	99～102ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野6 雇用・就労

基本施策4 福祉施設から一般就労への移行推進

番号	重点取組名	就労に向けた訓練・就労体験
3	目的・内容	札幌市（障がい福祉課、各区）において、市内の特別支援学校から生徒を受け入れて、職場実習・就労体験の機会を設け、就労に向けた支援を行う。
	実績	障がい福祉課、各区において41名実習受入。
	見通し	引き続き、障がい福祉課、各区において実習を受入予定。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策1 情報バリアフリー化の推進

番号	重点取組名	補装具費の支給、日常生活用具の給付（再掲）
1	目的・内容	21ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	障がいのある方の情報通信に関する支援
2	目的・内容	障がいのある方の情報通信技術の利用機会や活用能力の格差是正を図るための総合的なサービス拠点として、「障がい者ITサポートセンター」を設置し、自立と社会参加を促進することを目的に、ITに関する利用相談や情報提供、パソコン講習の開催、パソコンボランティアの養成及び派遣を行う。
	実績	- パソコンに関する相談件数 292件 - パソコンボランティア件数 441件 - パソコン講習受講数 100人
	見通し	平成28年8月末現在 - パソコンに関する相談件数 120件 - パソコンボランティア件数 191件 - パソコン講習受講数 58人
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	選挙における支援（再掲）
3	目的・内容	96ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	選挙管理委員会事務局

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策1 情報バリアフリー化の推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみめい 重点取組名	かいぎとう 会議等における配慮（再掲）
4	もくてき ないよう 目的・内容	97ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとうぶ 担当部	ほけんふくしきよくしょう 保健福祉局障がい保健福祉部

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策2 情報提供の充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	こうほうし とうほう ばんぐみ 広報誌、広報番組、ホームページなどをつうじたこうほう（さいけい）
1	もくてき ないよう 目的・内容	1 ページをごさんしやう 御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	そうむ きよくこうほう ぶ 総務局広報部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	さっぽろし こうしき 札幌市公式ホームページの管理運営
2	もくてき ないよう 目的・内容	しょう かい ぶく 障がいのある方も含めたあらゆる人が、ホームページから ようい じょうほう え 容易に情報を得られるよう、札幌市公式ホームページ全体の うんえい かんり 運営管理において、アクセシビリティのさらなるこうじやう はか 向上を図るとともに、各部署にたいわ 対し分かりやすいページ作成のさくせい しえん じよ 支援や助言を行う。
	じっせき 実績	さくせい かかる そうさ けんしやう ほか つか み ホームページ作成に係る操作研修の他、使いやすい、見や すいホームページの作成について研修を実施し、アクセシビ リティのじゅうようせい しゅうち 重要性を周知した。 また、初心者でもアクセシビリティにはいりよ 配慮したページ作成が できるよう、そうさ けんしやうじ 操作研修時にホームページ作成・さくせい こうしんじ 更新時におけるかんい 簡易チェックリストをはいふ 配布。 その他、しょう かい ぶく だれ み 障がいのある方を含め誰もが使いやすいページとなる よう、こうほうか けいぞくてき 広報課にて継続的なページチェックをおこな を行った。
	みとお 見通し	くに さだ 国が定めるアクセシビリティに関するしん 指針である 「JIS X 8341-3：2010」がへいせい ねん がつ にち かいせい 平成28年3月22日に改正さ れたこと、また、へいせい ねん がつ にち 平成28年4月1日に「しょうがいしや さべつ かいしょうほう 障害者差別解消法」がしこう 施行されたことを受け、へいせい ねん ど まつ 平成29年度末までに、札幌市公 式ホームページが適合格ばあ 適合レベルAA 準拠となることをめざ し、アクセシビリティけんしやう けいぞくてき 検証や継続的なページチェックをおこな を行う。 また、しょう かい ぶく だれ み 障がいのある方への配慮のじゅうようせい 重要性や、そのじつげん しゅほう とう 実現手法等について、けんしやう じっし 研修を実施する等、など ひ つづ ちやうない 引き続き庁内へのしゅうち 周知、徹底 つと
	たんとう ぶ 担当部	そうむ きよくこうほう ぶ 総務局広報部

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策2 情報提供の充実

番号	重点取組名	福祉ガイド等の作成・配布、各種相談窓口の紹介（再掲）
3	目的	92ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	点字・音声による情報提供
4	目的・内容	文字による情報入手が困難な視覚障がいのある方のために点訳、音訳その他障がいのある方にわかりやすい方法により、広報さっぽろの情報など障がいのある方が地域生活をするうえで必要度の高い情報を定期的に提供する。
	実績	- 点字さっぽろの発行 - 声のさっぽろ（デージー版）の発行
	見通し	平成27年度と同様の取組を継続する。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策2 情報提供の充実

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみめい 重点取組名	さまざましょうはいりよ 様々な障がいに対応した情報提供
5	もくてき 目的・内容	しょうふくしかん 障がい福祉に関するパンフレットやガイドブックなどについて、わかりやすい表現に心がけ、かんじ 漢字へのルビ、せんもんようご 専門用語へのちゅうしゃく 注釈、おんせいよ 音声読み上げ装置にあ そうちたいおう 対応したにじげん 二次元コードを付けるなど、よ 読みやすくするくふう 工夫につと 努める。
	じっせき 実績	しょう 障がいのある方のためのかた の福祉ガイド、しょう さっぽろ障がい者冊子、 そうだんしえん 相談支援事業所じぎょうしょ ガイドブック等のかんこうぶつ 刊行物について、それぞれ かのう 可能なかぎ かき かきしゅ 各種のしょう 障がいたくせい 特性にはいりよ 対応したないよう 内容とするようつと 努めた。 また、あわ 併せてはつたつ 発達障がいやじゅうしょう 重症心身障がい児(者)等、 とくていしょう 特定の障がいを持つ方と も かた かぞく とう む 家族等に向けたさっし 冊子等もとう 作成し、これらのかたがた 方々に対するたい 支援と しえん 理解りかい そくしん 促進はか をいっした。
	みとお 見通し	へいせい 平成27年度と ねんど 同内容のどう ないよう 取組とりくみ をじっし 実施。
	たんとうぶ 担当部	ほけんふくし 保健福祉局しょう 障がいほけんふくし 保健福祉部ぶ

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策3 意思疎通支援体制の充実

番号	重点取組名	意思疎通支援事業等の円滑な提供
1	目的・内容	99～102ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	テレビ電話を活用した消費生活相談
2	目的・内容	公益社団法人札幌聴覚障害者協会との連携により、消費生活相談室に手話通訳システムを導入し、来訪時にテレビ電話を利用して手話通訳者を介した消費生活相談を受け付けている。
	実績	手話相談システムの利用実績…7件
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	担当部	市民文化局市民生活部

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術 活動・生涯学習活動に対する支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しょう しゃ しんこう 障がい者スポーツの振興
1	もくてき ないよう 目的・内容	しょう しゃ たいけんかい かいさい たいけん つう 障がい者スポーツの体験会を開催し、体験などを通じて、 しょう しゃ かた さんか しみん しょう しゃ 障がいのある方のスポーツへの参加や市民の障がい者スポー ツへの理解を深める。
	じっせき 実績	しょう しゃ たいけんかい し 障がい者スポーツの体験会（「知ろう！やってみよう！パ ラスポーツ」）を開催（来場者数107名）
	みとお 見通し	へいせい ねんど どう ないよう とりくみ じっし よてい 平成27年度と同内容の取組を実施予定。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しょう しゃ たいかい かいさい 障がい者スポーツ大会の開催
2	もくてき ないよう 目的・内容	しょう しゃ かた つう たいりょく いじ ぞうしん きの 障がいのある方がスポーツを通じて体力の維持、増進、機 能回復を図り、社会参加の推進と、市民の障がいのある方に たい しゃかいさんか すいしん しみん しょう しゃ 対する理解促進を目的とする。 りくじょうきょうぎ たっきゅう すいえい ・陸上競技 ・卓球 ・水泳 ・アーチェリー ・ボウリング ・フライングディスク ・バスケットボール かいさい を開催。
	じっせき 実績	がつ にち がつ にち かかん かいさい 5月17日～6月7日の4日間開催 たっきゅう すいえい りくじょう ・卓球、水泳、アーチェリー、陸上、ボウリング、フライン グディスク、バスケットボールかいさい を開催。
	みとお 見通し	へいせい ねんど どう ないよう とりくみ じっし よてい 平成27年度と同内容の取組を実施予定。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術 活動・生涯学習活動に対する支援

番号	重点取組名	既存体育施設のバリアフリー化の推進
3	目的・内容	障がいのある人が広く気軽にスポーツ施設を利用できるようにするため、エレベーターの設置及び身障者用多目的トイレへの改修等を行います。
	実績	建築部の保全改修工事において、下記施設で点字ブロックの設置等を行った。 ●西区体育館 ・オストメイト設置 ●星置スケート場 ・点字ブロック（誘導・警告）設置 ●美香体育館 ・点字ブロック（誘導・警告）設置 ・階段等への手摺取付 ●豊平公園温水プール ・点字ブロック（誘導・警告）設置 ・オストメイト設置 また、指定管理者の自主還元において、下記の項目を実施した。 ●札幌ドーム ・一部の和式便器を洋式に変更。（25,000千円）
	見通し	平成28年度については、建築部の保全改修 工事において、下記項目を実施予定。 ●宮の沢屋内競技場 ・階段室への手摺取付 ・オストメイト設置 ●白石温水プール ・手摺取付 ・オストメイト設置 ●南区体育館 ・点字ブロック（誘導・警告）設置 ・階段室への手摺取付 ・小便器手摺取付 ・オストメイト設置 また、指定管理者の自主還元において、下記の項目を実施予定である。 ●札幌ドーム ・スタンド階段手摺設置
	担当部	スポーツ局スポーツ部

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術活動・生涯学習活動に対する支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	さっぽろしみん 市民カレッジ
4	もくてき 目的・内容	<目的> 総合的、継続的な学習機会を市民に提供するとともに、学習成果が評価され、社会に生かされる仕組みをつくることにより、市民の自主的な学びや社会参加を支援し、本市のまちづくりの促進を目指す。 <内容> 市民の多様な学習ニーズにこたへるため、年3期（春・夏、秋、冬期）において、ボランティアや市民活動、まちづくり等を促進する「市民活動系」と職業能力の向上や産業育成・活性化を促進する「産業・ビジネス系」を柱に、「文化・教養系」を加えた体系的な学習プログラムを提供する。なお、地域における学習機会の提供として、市民が講座を企画・運営する「ご近所先生企画講座」や、市立札幌大通高校を会場に高校生と市民が共に学ぶ「学社融合講座」についても、さっぽろ市民カレッジとして実施している。
	じっせき 実績	市民活動系：34講座 477名 産業・ビジネス系：32講座 436名 文化・教養系：239講座 4,255名 計：305講座 5,168名
	みとお 見通し	市民活動系：33講座 産業・ビジネス系：35講座 文化・教養系：240講座 計：308講座
	たんどうぶ 担当部	きょういふ しいんかい しやうがいがくしゅうぶ 教育委員会生涯学習部

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術活動・生涯学習活動に対する支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ぶんか げいじゆつ かつどう たい しえん 文化芸術活動に対する支援
5	もくてき ないよう 目的・内容	パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF） やサッポロ・シティ・ジャズ、さっぽろアートステージなどの各種イベントを開催するほか、文化芸術施設や500m美術館などの管理運営を行い、市民が文化芸術に触れる機会の充実を図っている。 また、文化芸術活動団体への助成や、文化活動練習会場学校開放事業などにより、文化芸術活動に対する支援を行っている。
	じっせき 実績	・パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）、サッポロ・シティ・ジャズ、さっぽろアートステージなどの各種イベントの開催 ・文化芸術施設や500m美術館などの管理運営 ・文化芸術活動団体への助成 ・文化活動練習会場学校開放事業の実施 など
	みとお 見通し	平成27年度と同内容を予定
	たんとう ぶ 担当部	市民文化局市民部

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術 活動・生涯学習活動に対する支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しょうがいのある方を支援する読書サービス等の検討
6	もくてき 目的・内容	からだ しょう 身体障がいや発達障害など、さまざまな障がいのある方を支援 するための読書サービスや図書館施設のあり方について検討 を行う。
	じっせき 実績	- 平成26年度から検討していた第3次札幌市子どもの読書 活動推進計画（さっぽろっこ読書プラン）を策定し、平成 27年11月に公表した。 - 視聴覚障がい者向けコンテンツの充実に向け、視聴覚障が い者情報センターと意見交換を実施。 - 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（「障害 者差別解消法」）への対応を進める為、日本図書館協会障害 者サービス委員会から講師を招き、研修を実施。
	みとお 見通し	- 電子書籍において、視覚障がい者がアクセスしやすい専用 ホームページの設置を検討。 - 視覚障がい者向けコンテンツ充実に向け、視聴覚障がい者 情報センターと意見交換。 - 障がいのある方を支援する図書館サービス充実に向け、日 本図書館協会主催の「障害者サービス担当職員養成講座」へ 図書館員を派遣。
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いんかい ちゅうおう としょかん 教育委員会中央図書館

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術 活動・生涯学習活動に対する支援

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	ちてき しょう 知的障がい者のための成人学級事業
7	もくてき ないよう 目的・内容	とくべつ しえん がっこう ちゅうがっこう とくべつ しえん がっきゅう しゅうりょう 特別支援学校または中学校の特別支援学級などを修了し、 しゃかい さんか 社会参加している、またはしようとするものを対象に、いっばんしゃ 社会知識の習得や体力づくり、人間関係等、集団生活や体験の かい ちしき しゅうとく たいりよく にんげん かんけいとう しゅうだんせいかつ たいけん 場を通じて社会生活によりよく対応できる人間形成を目指 し、じっせいかつ そく がくしゅう おこな し、実生活に即した学習を行う。
	じっせき 実績	① しゃだんほうじん さつぽろし て いくせいかい せいねんがっきゅう 社団法人札幌市手をつなぐ育成会トライ青年学級 じっし かいすう かい 実施回数 50回 ② さつぽろしりつ ほうめい こうとう ようご がっこう さつぽろ 札幌市立豊明高等養護学校札幌トエ・ピラ成人学級 じっし かいすう かい 実施回数 9回
	みとお 見通し	① しゃだんほうじん さつぽろし て いくせいかい せいねんがっきゅう 社団法人札幌市手をつなぐ育成会トライ青年学級 じっし かいすう かい 実施回数 50回 ② さつぽろしりつ ほうめい こうとう ようご がっこう さつぽろ 札幌市立豊明高等養護学校札幌トエ・ピラ成人学級 じっし かいすう かい 実施回数 9回
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いいんかい しょうがいがくしゅう ぶ 教育委員会生涯学習部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	とくべつ しえん がっこう ちいき れんけい じぎょう 特別支援学校・地域連携事業
8	もくてき ないよう 目的・内容	がっこう きゅうぎょうび とくべつ しえん がっこう がっこう しせつ かつよう じどう せい 学校休業日に特別支援学校の学校施設を活用し、児童・生 と とくせい おう かつどう うなが ば ていきょう もくてき 徒の特性に応じた活動を促す場を提供することを目的とし て、かくしゅ ぎょうじ かいさい 各種行事の開催やボランティアグループとの交流等を行 う。
	じっせき 実績	じっし かいすう かい 実施回数5回
	みとお 見通し	じっし かいすう かい 実施回数5回
	たんとう ぶ 担当部	きょういく いいんかい しょうがいがくしゅう ぶ 教育委員会生涯学習部

分野8 スポーツ・文化

基本施策1 スポーツ・文化芸術活動・生涯学習活動に対する支援

番号	重点取組名	札幌市健康づくりセンターの利用促進
9	目的・内容	障がい者が健康づくりに取り組む機会を提供するため、札幌市健康づくりセンターを紹介して施設利用を促す。 障がい者の施設利用においては、減免制度によって利用しやすい環境を整え、運動指導員や理学療法士による健康づくりの支援を行う。
	じっせき実績	・平成27年度利用促進事業における障がい者の健康度測定受診数は2名（知的1名・身体1名） なお、健康度測定受診者全体（利用促進事業利用者含む）のうち、障がい者は105名。 ・施設利用状況（延べ数） 障がい者（利用促進事業分）＝2名×2.4回×12ヶ月÷57回 障がい者（健康度測定受診者全体）＝105名×2.4回×12ヶ月÷3,024回 ※施設利用状況については、重視する対象者（健康度測定受診者）の月平均利用回数（2.4回）に基づき計算。
	みとお見通し	障がい者の利用者数に対する個別目標無し。
	たんとうぶ担当部	保健福祉局保健所

分野9 安全・安心

基本施策1 雪や災害に強いまちづくりの推進

番号	重点取組名	冬のみちづくりプランの推進
1	目的・内容	市民・企業等との協働の推進、多様なソフト施策の導入、施策の選択と集中によるメリハリをつけた事業の展開を基本方針として、雪対策を推進する。
	実績	◆凍結防止剤の散布（車道：706km 歩道：300km） ◆砂箱の設置（1,139基） ◆公共施設における砂まき活動（316箇所） ◆民間企業における砂まき活動（1,021店舗）
	見通し	雪対策の中長期計画である「札幌市冬のみちづくりプラン」で定めた除雪水準等を維持し、安全な冬期交通環境の確保を図る。
	担当部	建設局 雪対策室

番号	重点取組名	福祉産業共同研究事業（再掲）
2	目的・内容	22ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	経済観光局産業振興部

分野9 安全・安心

基本施策1 雪や災害に強いまちづくりの推進

番号	重点取組名	住宅防火対策の推進
3	目的・内容	地域住民による火災訓練や福祉事業者等の自衛消防訓練指導時に住宅からの出火防止対策や住宅用火災警報器の設置・維持管理等について紹介するほか、地域の火災特性を踏まえた防火ミニ講座を実施し、市民や関連事業者等と情報共有を図る。
	実績	市民に対する火災訓練指導・・・877件 事業所に対する自衛消防訓練指導・・・475件 市民に対する防火ミニ講座・・・130件
	見通し	企業等の地域貢献活動による火災予防啓発事業の実施
	担当部	消防局予防部

番号	重点取組名	障がい児者施設の修繕等に対する支援の検討
4	目的・内容	障がい者の居住の安全性を高めるため、老朽化が進む障害者支援施設等の改築・修繕整備を推進する。
	実績	整備実績なし
	見通し	旧耐震基準で建設された障害者支援施設等のうち、1施設が耐震化診断未実施であるが、28年度中に実施予定であるため、結果により、今後の整備時期等について法人と検討していく。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野9 安全・安心

基本施策1 雪や災害に強いまちづくりの推進

番号	重点取組名	社会福祉施設等の安全対策の推進
5	目的・内容	消防局・保健福祉局・都市局の関係部局の連絡協議の場として「札幌市グループホーム等安全安心連絡協議会」を設置し、情報交換を図り、社会福祉施設におけるさらなる安全安心に向けての取組を推進する。
	実績	消防局・保健福祉局・都市局が出席し、社会福祉施設における消防法令改正の状況、避難訓練の実施状況、各局の取組み状況など情報共有を図り、安全安心に向けた取組みを行うため「札幌市グループホーム等安全安心連絡協議会」を開催した。（平成27年度は1回実施） また、火災などの災害が発生した際には、関係部局に情報提供をして、関係団体、関係施設に対して注意喚起文書の送付を行い、再発防止に努めている。
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施
	担当部	消防局予防部

分野9 安全・安心

基本施策2 災害時における支援の推進

番号	重点取組名	災害時における避難支援の仕組みづくり
1	目的・内容	「札幌市要配慮者避難支援ガイドライン」及び「災害時支えあいハンドブック」に基づき、災害時に自力では避難できない障がいのある方や高齢の方などの手助けを地域が主体となって実施する仕組みづくりを促進する。 また、災害時の避難に特に支援を要する方たち（避難行動要支援者）の名簿を作成し、災害の発生に備えて、平常時から避難支援に取り組む地域の団体に対し、名簿の提供を行う。
	実績	出前講座等の実施回数：134回 避難支援取組地域団体数：176団体
	見通し	平成28年度から、災害時要援護者避難支援対策事業と避難行動要支援者避難支援事業を統合し、避難行動要支援者名簿の活用と併せて、地域での取り組みが拡大するよう、継続した支援を行っていく。
	担当部	保健福祉局総務部

分野9 安全・安心

基本施策2 災害時における支援の推進

番号	重点取組名	避難場所の環境整備の推進
2	目的・内容	災害が発生した場合には、関係機関との連携により各施設の状況及び避難した障がいのある方の把握を行うことや、避難後は、障がいのある方への情報提供、ニーズを把握し、ボランティアや避難者に支援を要請するとともに、収容避難場所での生活が困難な方を社会福祉施設等に移送するなど、災害時要配慮者の対策を推進する。
	実績	引き続き「札幌市避難場所基本計画」に基づき、災害時要配慮者対策として、車いす対応トイレの6か所の整備により、計208か所の整備が完了した。
	見通し	引き続き「札幌市避難場所基本計画」に基づき、災害時要配慮者対策として、車いす対応トイレについては、6か所の整備により、計214か所の整備が完了する見込みである。
	担当部	危機管理対策室危機管理対策部

番号	重点取組名	障がいのある人の避難訓練等への参加促進
3	目的・内容	災害時において、障がいのある人が自らできることや、周りの人が支援できることなどを確認するため、地域等で行われている避難訓練等への障がいのある人の参加を促進する。
	実績	すべての区において、障がいのある人が参加して防災訓練を実施した。 (南区は雨のため防災訓練を中止)
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施
	担当部	保健福祉局 障がい保健福祉部

分野9 安全・安心

基本施策2 災害時における支援の推進

番号	重点取組名	災害時の緊急受入れに関する関係機関との協定
3	目的・内容	【目的】札幌市の区域内で大規模な災害が生じた際、札幌市と障がい福祉施設が協力し、要援護者の円滑な避難支援等を実施することを目的とする。 【内容】札幌市と札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会（旧札幌市身体障がい者施設連絡会）・札幌市知的障がい福祉協会において「災害時の緊急受入れに関する協定書」を締結し、要援護者の緊急受入れに関し、協力体制の構築を図った。
	じっせき実績	施設利用者の避難・他施設の受入態勢を構築するため、札幌市と協定を締結する施設団体は、加盟施設の合同により大規模避難訓練を実施するとともに、訓練後の課題の抽出・反省を行う「避難訓練ふりかえり会」を実施した。
	みとお見通し	災害時における要援護者の円滑な避難支援等を実施するため、札幌市と施設団体の更なる協力関係を構築する。
	たんとうぶ担当部	保健福祉局 障がい保健福祉部

分野9 安全・安心

基本施策3 地域における見守り活動の推進

番号	重点取組名	知的障がいのある方の見守り事業
1	目的・内容	知的障がいのある方は、一般的に自らの問題について外部に発信することを苦手としている傾向があり、単身生活者など社会とのかかわりが少ない方は、孤立するリスクが高いと考えられる。障がい福祉サービス等を受給していない方と行政が接点を持つことは困難な状況にあることから、現況調査を実施し、地域の福祉関係者（民生委員）による見守り活動を行う他、知的障がいを理解するための研修等を毎年行う。
	実績	・現況調査票の発送及び回収 ・見守り冊子（ハピサボ）を年4回発行 ・療育手帳をお持ちの方のための福祉ガイド2015の発行 ・職員研修の実施
	見通し	平成27年度と同様の取組を実施予定。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	相談支援事業の充実（再掲）
2	目的・内容	
	実績	9ページを御参照ください。
	見通し	
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野9 安全・安心

基本施策3 地域における見守り活動の推進

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	きぎょう 企業などとの連携推進
1	もくてき ないよう 目的・内容	【目的】 札幌市では、民間事業者との連携により、事業活動を通じて、異変のある、または、何らかの支援を必要とする市民を早期に発見し、必要な支援を行うなど、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、複合的・重層的な見守り・安否確認活動を推進している。 【内容】 民間事業者の事業活動（宅配業務等）により、札幌市内に居住する65歳以上の高齢者及び障がい者の方の緊急対応を要する異変を発見した場合は、警察署・消防署へ通報し、異変等が疑われる場合は各区役所へ通報するといった通報体制の充実を図っている。
	じっせき 実績	①事業者が区に通報した件数 8件 ②事業者が警察署・消防署に通報した件数 14件 ③事業者が地域関係者と連携し対応した件数 14件 ④事業者の再訪問や緊急連絡先への連絡等で完結した事例 14件
	みとお 見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きよふよう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	しょうひしや ひがい ぼうし 消費者被害防止ネットワーク事業
1	もくてき 目的・内容	・ 目的 障がい者及び高齢者の消費者被害の傾向として、「被害意識が薄い」「トラブルを周囲に相談せず抱え込む」という傾向があり、被害が潜在化している状況にある。そのため潜在化している消費者被害の発見のために当該事業を実施している。 ・ 内容 各区に消費生活推進員を配置し、障がい者等と接する機会のある障がい者相談支援事業所や地域包括支援センター等の福祉関係機関、民生委員、町内会等の関係機関と連携し、消費者トラブルの発見の担い手となっただくとともに、同行訪問による実態調査を行い、消費者被害の早期発見、救済に努める。 関係機関に消費生活推進員を講師として派遣し、消費者被害防止のためのミニ講座を実施する。 また、多く見られる消費者被害の手口をイラスト入りで紹介する「みまもり通信」を作成。併せて、関係機関から寄せられた相談情報を掲載した「被害者報告シート」を作成し、毎月関係機関に配信し、情報提供を行っている。
	じっせき 実績	・ 障がい者が当事者の関係機関からの情報提供…22件 ・ 障がい者を対象としたミニ講座の開催…2回 ・ 「みまもり通信」「被害者報告シート」の配信…12回
	みとお 見通し	同様の取組のほか、事業者や各種団体を消費生活サポーターとして登録し、見守り活動等を行ってもらうことで、見守りのネットワークの拡充を図る。
	たんとう ぶ 担当部	しみん ぶんか きょくしみん せいかつ ぶ 市民文化局市民生活部

ぶんや 分野9 あんぜん・あんしん 安全・安心

きほん 基本施策4 しょうひしゃ ひがひ 消費者被害の防止

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	テレビ電話を活用した消費生活相談（再掲）
2	もくてき ないよう 目的・内容	72ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	しみん ぶんか きょくしみん せいかつ ぶ 市民文化局市民生活部

ばんごう 番号	じゅうてんとりくみ めい 重点取組名	けんり ようご かか そうだん しえん じゅうじつ 権利擁護に係る相談支援の充実
3	もくてき ないよう 目的・内容	90ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ぼけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野10 差別の解消・権利擁護

基本施策1 障がい者を理由とする差別の解消

番号	重点取組名	障害者差別解消法の円滑な施行
1	目的・内容	国の基本方針等に基づき、職員対応要領や相談体制の整備等を進め、障がいのある人の差別の解消の推進と、合理的配慮の提供に取り組む。
	実績	「障害者差別解消法を踏まえた札幌市の対応方針」及び「共生社会の実現に向けた札幌市職員の接遇要領」を作成した。
	見通し	法施行後も引き続き、法の趣旨の普及啓発に努め、共生社会の実現に向けた各種取組を継続する。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野10 差別の解消・権利擁護

基本施策2 権利擁護の推進

番号	重点取組名	権利擁護に係る相談支援の充実
1	目的・内容	障がい者あんしん相談運営事業、成年後見制度利用支援事業の一層の推進により、障がいのある人の権利擁護のための相談支援体制の強化を図る。
	実績	- 障がい者あんしん相談運営事業 2,496件 - 成年後見制度利用支援事業 市長申立件数（障がい福祉課分） 14件
	見通し	- 障がい者あんしん相談運営事業 2,654件 - 成年後見制度利用支援事業 市長申立件数（障がい福祉課分） 15件
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野10 差別の解消・権利擁護

基本施策2 権利擁護の推進

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	ほっかいどうしょう しゃじょうれい ふきゅう 北海道障がい者条例の普及
2	もくてき ないよう 目的・内容	「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例（北海道障がい者条例）」は、障がいのある方の権利擁護や障がいがあることを理由に差別、虐待を受けることのない暮らしやすい地域づくりを目的として、北海道が制定したものであり、本市としても道や関係機関と連携し、同条例の普及を図っている。 また、「障害者あんしん相談運営事業」として、障がいのある方の権利擁護相談に応じる専門相談窓口を設置している（札幌市社会福祉協議会に委託して実施）ほか、各区保健福祉課及び市内の相談支援事業所（委託）でも障がいのある方からの相談を幅広く受け付けている。
	じっせき 実績	●北海道障がい者条例の普及 北海道が作成したパンフレットの配布を行うほか、各種会議等において随時紹介を行っている。 ●障がい者あんしん相談 相談件数2,496件（権利擁護に関するもの以外を含む）
	みとお 見通し	平成27年度と同様の取組を実施。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょしやう 保健福祉局障がい保健福祉部

分野10 差別の解消・権利擁護

基本施策2 権利擁護の推進

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	ふくし とう さくせい はいふ かくしゅ そうだん まどぐち しょうかい 福祉ガイド等の作成・配布、各種相談窓口の紹介
3	もくてき ないよう 目的・内容	しょうがいのある方の自立や社会参加等を目的とし、札幌市内で実施している最新のしょうがい福祉施策をまとめた「しょうがいのある方のための福祉ガイド」を、毎年市民向けに発行している。
	じっせき 実績	そうだん しえん じぎょうしょ かんけい きかん ゆうそう かくく 相談支援事業所などの関係機関に郵送するとともに、各区保健福祉課や市政刊行物コーナーなどを通じて希望者に配布（発行部数23,000部）。
	みとお 見通し	へいせい ねんど どう ないよう よてい 平成27年度と同内容を予定。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	しょう どうじしゃ いけん はんえい 障がい当事者の意見反映
4	もくてき ないよう 目的・内容	しょうがいのある方をはじめ市民の方の意見が市政に反映されるよう、市民の声を聴く機会の充実を図る。 ぐたいてき とりくみ れい 具体的な取組の例としては、しょうがいしゃによるまちづくりサポーター制度を実施している。
	じっせき 実績	しょうがいしゃによるまちづくりサポーター制度において、しょうがいのある方の意見が取りまとめられ、かつどうほうこくしょ ていしゅつ う 活動報告書の提出を受けた。
	みとお 見通し	へいせい ねんいこう ひ つづき さまざま きかい とら しょう 平成28年以降も引き続き、様々な機会を捉えて、しょうがいのある方をはじめ市民の声を聞く機会の充実を図る。
	たんとう ぶ 担当部	ほけん ふくし きょくしょう ほけん ふくし ぶ 保健福祉局障がい保健福祉部

分野10 差別の解消・権利擁護

基本施策2 権利擁護の推進

ばんごう 番号	じゅうてん とりくみ めい 重点取組名	こ 子どもの権利救済機関の運営（再掲）
5	もくてき ないよう 目的・内容	51ページを御参照ください。
	じっせき 実績	
	みとお 見通し	
	たんとう ぶ 担当部	こ 未来局子どもの権利救済事務局

分野10 差別の解消・権利擁護

基本施策3 障がい者虐待防止の推進

番号	重点取組名	障がいのある方に対する権利擁護、虐待防止対策の推進
8	目的・内容	障がい者の虐待の防止や早期発見、虐待を受けた障がい者の保護や自立の支援、養護者に対する支援を行うことにより、障がい者の権利利益の擁護に資する。 1 障がい者虐待相談事業：①虐待通報等の受付、②障がい者及び養護者等に対する相談、指導及び助言、③虐待防止等に係る広報その他の啓発活動、④虐待防止ネットワークの運営・管理、⑤情報の集約・統計及び分析 2 緊急受入先調整・夜間休日虐待通報等受付事業：①緊急一時保護を要する障がい者の受入先の調整・確保、②夜間休日における虐待通報等の受付
	実績	・障がい者虐待相談・通報受付・・・延べ件数 236件 ・緊急受入先調整・・・延べ人数 31人 ・虐待防止講演会実施・・・参加者 245名 ・民生委員・児童委員セミナー実施・・・参加者 162名 ・虐待防止ネットワーク会議開催 ・虐待防止啓発パンフレット等作成
	見通し	・障がい者虐待相談・通報受付・・・延べ件数 250件 ・緊急受入先調整・・・延べ人数 30人 ・虐待防止講演会実施・・・参加者 245名 ・民生委員・児童委員セミナー実施・・・参加者 162名 ・虐待防止ネットワーク会議開催 ・虐待防止啓発パンフレット等作成
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野1 行政サービスにおける配慮

基本施策1 行政サービスにおける配慮

番号	重点取組名	職員に対する障がい者理解の促進
1	目的・内容	研修等を通じ、職員に対する障がい者理解の促進に努めるとともに、窓口等における障がいのある方への配慮の徹底を図る。また、職員によって説明や配慮のしかたに隔たりが生じないように努める。
	実績	障害者差別解消法に関する庁内ホームページを開設し、障害者差別解消法の情報を発信するとともに、障がい種別に応じた配慮例等を掲載した。
	見通し	引き続き、合理的配慮の提供事例等の蓄積を行い、庁内で情報共有を図る。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

分野1 行政サービスにおける配慮

基本施策1 行政サービスにおける配慮

番号	重点取組名	選挙における支援
2	目的・内容	1 札幌市議会議員選挙における候補者等を紹介した点字版の選挙のお知らせと札幌市長選挙における選挙公報全文を点訳した点字版と音読した音声版の選挙のお知らせを関係世帯に配布する。 2 投票所における介添え、点字候補者名簿、点字器、老眼鏡、文鎖等の常備など、障がいのある方に配慮した投票環境を整備するとともに、選挙人が自らの意思に基づき投票できるよう、様々な配慮を行う。
	実績	平成27年4月12日執行の第18回統一地方選挙においては、上記「目的・内容」の1、2による配慮のほか、投票所内の投票関係掲示物のふりがなの付記、各投票所の投票箱上部への点字シールの貼り付け、障がいのある選挙人でも気軽に相談できるよう投票に関する主な相談内容を図示化したコミュニケーションボードの各投票所への備え付けを実施。 また、選挙がない平常時においては、障がい者団体からの要請に基づき、知的障がいのある方々を対象に投票方法などの周知を図るための模擬投票を出前講座として実施。
	見通し	平成27年度と同様の取り組みを実施するほか、平成28年度以降の選挙から一部の投票記載台に滑り止め用のシートを設置して、片手でも投票用紙に記入ができるよう配慮を行う予定。
	担当部	選挙管理委員会事務局

分野11 行政サービスにおける配慮

基本施策1 行政サービスにおける配慮

番号	重点取組名	会議等における配慮
3	目的・内容	障がいのある方が参加する会議等においては、障がい種別に応じた情報提供やコミュニケーションに配慮するよう努める。
	実績	障がいのある方が参加する会議において、資料ヘルプふりなど、障がい特性に応じたコミュニケーション支援等を実施。 障がいのある方の参加が見込まれた意見交換会等に、手話通訳者、要約筆記奉仕員を手配。
	見通し	平成27年度と同様の取組を継続する。
	担当部	保健福祉局障がい保健福祉部

番号	重点取組名	テレビ電話を活用した消費生活相談（再掲）
4	目的・内容	72ページを御参照ください。
	実績	
	見通し	
	担当部	市民文化局市民生活部

分野11 行政サービスにおける配慮

基本施策2 情報提供の充実（再掲）

69～71ページを御参照ください。

しょう ふうし けいかく ぶ
障がい福祉計画の部

1 へいせい ねんど せいか もくひょう
平成29年度の成果目標

こうもく 項目	すうち もくひょう 数値目標	じっせき 実績 (H27実績)	びこう 備考
にゅうしょ しせつ にゅうしょしゃ ちいき せいかつ 入所施設の入所者の地域生活 への移行者数	260人	ほっかいどう しゅうけい 北海道の集計	へいせい ねん がつ へいせい 平成26年4月から平成
にゅうしょ しせつ にゅうしょしゃ すう げんしょうみこ 入所施設の入所者数の減少見 込み	86人	みたつ 未達	30年3月までの累計
ちいき せいかつ しえん きよてん せいび 地域生活支援拠点の整備	1か所		へいせい ねんどまつ すく 平成29年度末までに少 なくとも1か所整備す る。
ふうし しせつ いっぱんしゅうろう いこ 福祉施設から一般就労への移 行者数	600人	367人	へいせい ねんど ふう 平成29年度において福 祉施設を退所し、一般就 労した方々の数
しゅうろう いこう しえん じぎょう りよう しゃ すう 就労移行支援事業の利用者数	1,180人	799人	へいせい ねんど げつ あ 平成29年度の1か月当 たりの利用者数
にゅういんちゅう せいしんしょう しゃ ちいき 入院中の精神障がい者の地域 移行支援の利用者数	60人	8人	へいせい ねんど げつ あ 平成29年度の1か月当 たりの利用者数（札幌市 独自に設定する目標）

2 しょう ひと たい りかい そくしん かん もくひょう
障がいのある人に対する理解促進に関する目標

こうもく 項目	すうち もくひょう 数値目標	じっせき 実績	びこう 備考
しょう ひと ちいき 障がいのある人にとって地域 で暮らしやすいまちであると 思う障がいのある人の割合	60%	46%	
しょう ひと ちいき 障がいのある人にとって地域 で暮らしやすい街であると思 う人の割合	50%	27%	

			第4期障がい福祉計画					
サービス種別		単位	27年度		28年度		29年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績
訪問系	居宅介護	利用人数	3,475	3,622	3,605		3,736	
		時間/月	69,541	73,814	72,564		75,817	
	重度訪問介護	利用人数	341	344	369		399	
		時間/月	79,421	86,005	86,406		91,843	
	重度障害者等包括支援	利用人数	1	0	1		1	
		時間/月	638	0	638		638	
	行動援護	利用人数	672	667	710		750	
		時間/月	11,672	11,428	13,662		15,991	
	同行援護	利用人数	487	461	521		557	
		時間/月	10,021	9,517	10,845		11,748	
	小計	利用人数	4,976	5,094	5,206		5,443	
		時間/月	171,293	180,764	184,115		196,037	
日中活動系	療養介護	人/月	300	303	301		302	
	生活介護	利用人数	4,712	4,747	4,817		4,914	
		人日/月	91,800	96,093	94,055		96,075	
	自立訓練（機能訓練）	利用人数	1	4	1		1	
		人日/月	23	60	23		23	
	自立訓練（生活訓練）	利用人数	150	132	157		159	
		人日/月	2,470	2,293	2,642		2,760	
	自立訓練（宿泊型）	利用人数	62	41	65		68	
		人日/月	1,744	10,127	1,864		1,961	
	就労移行支援	利用人数	920	799	1,050		1,180	
		人日/月	17,204	14,343	19,635		22,066	
	就労継続支援（A型）	利用人数	2,175	1,801	2,817		3,563	
		人日/月	43,405	36,605	56,158		71,207	
	就労継続支援（B型）	利用人数	5,170	4,783	6,068		7,171	
		人日/月	91,729	84,684	108,343		129,667	
	短期入所（福祉型）	利用人数	478	647	499		514	
		人日/月	3,614	5,009	3,706		3,777	
	短期入所（医療型）	利用人数	141	107	148		153	
		人日/月	1,128	752	1,184		1,224	
	小計（生活介護・就労移行支援・就労継続支援）	利用人数	12,977	12,130	14,752		16,828	
		人日/月	244,138	231,725	278,191		319,015	
居住系	共同生活援助・共同生活介護	人/月	2,649	2,514	2,895		3,172	
		定員数(人)	2,780	2,680	3,040		3,330	
	施設入所支援	人/月	2,115	2,125	2,094		2,073	
	旧体系利用	人/月						
相談	計画相談支援		人	1,262	3,406	1,408		1,546
	地域相談支援							
	地域移行支援	利用者数	7	8	9		11	
	地域定着支援	利用者数	15	30	15		15	

障がい福祉計画 サービス見込量一覧（訪問系、日中活動系、居住系及び相談支援）

			第4期障がい福祉計画					
サービス種別		単位	27年度		28年度		29年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績
児童福祉法に規定するサービス	児童発達支援	利用者数	2,836	2,740	3,231		3,728	
		人日/月	31,199	32,078	35,946		42,360	
	医療型児童発達支援	利用者数	53	50	53		53	
		人日/月	441	378	441		441	
	放課後デイサービス	利用者数	3,806	3,594	4,862		6,176	
		人日/月	37,305	38,864	49,709		64,589	
	保育所等訪問支援	利用者数	43	28	59		72	
		人日/月	47	32	65		82	
	障害児相談支援	人	414	809	404		715	
	福祉型児童入所支援	利用者数	993		993		993	
		人日/月	30,377		30,377		30,377	
	医療型児童入所支援	利用者数	792		792		792	
		人日/月	20,316		20,316		20,316	
	小計	利用者数	6,738	6,412	8,205		10,029	
		人日/月	68,992	71,352	86,161		107,472	

サービス種別		単位	第4期障がい福祉計画					
			27年度		28年度		29年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績
理解促進研修・啓発事業	実施の有無（1＝有）		1	1	1		1	
自発的活動支援事業	実施の有無（1＝有）		1	1	1		1	
相談支援事業								
相談支援事業								
障がい者相談支援事業	箇所数		20	20	20		20	
障がい児等療育支援事業	箇所数		5	5	5		5	
地域自立支援協議会	箇所数		1	1	1		1	
基幹相談支援センター	箇所数		1	1	1		1	
基幹相談支援センター等機能強化事業	箇所数		1	1	1		1	
住宅入居等支援事業	箇所数		20	20	20		20	
成年後見制度利用支援事業	利用人数		1	1	1		1	
	実利用見込み者数（人）		4	1	4		4	
成年後見制度法人後見支援事業	実施の有無（1＝有）		1	14	1		1	
意思疎通支援事業								
手話通訳者派遣事業	利用人数		399	394	375		352	
	延べ人数		4,802	4,753	4,514		4,243	
手話通訳者設置事業	通訳者数（登録+専従）		62	62	62		62	
	手話通訳者設置人数（専従通訳者数）		11	11	11		11	
要約筆記者派遣事業	利用人数		78	86	78		78	
	延べ人数		775	861	775		775	
盲ろう者通訳・介助員派遣事業	利用人数		26	26	27		28	
日常生活用具給付事業								
介護・訓練支援用具	給付件数		225	170	241		258	
自立生活支援用具	給付件数		679	776	686		693	
在宅療護等支援用具	給付件数		383	393	364		346	
情報・意思疎通支援用具	給付件数		325	306	345		366	
排泄管理支援用具	給付件数		30,591	34,160	31,203		31,827	
居宅生活動作補助用具	給付件数		32	100	26		21	
手話奉仕員養成研修事業	人数		241	266	241		241	
移動支援事業								
個別支援型	箇所数		439	437	454		472	
	人数		3,120	2,985	3,193		3,268	
	延べ時間数		358,831	316,251	367,132		375,625	
車両移送型	延べ人数		6,500	6,027	6,500		6,500	
地域活動支援センター								
基礎的事業	箇所数		53	53	51		49	
	実利用者数 自市町村所在分		616	590	592		568	
機能強化事業	箇所数		41	38	40		39	

札幌市障がい福祉計画 サービス実績（地域生活支援事業）

サービス種別		第4期障がい福祉計画					
		27年度		28年度		29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
発達障害者支援センター運営事業	箇所数	1	1	1		1	
	実利用者数	850	556	850		850	
障がい児等療育支援事業	箇所数	5	5	5		5	
専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業							
手話通訳者養成研修事業	登録見込み者数	14	0	14		15	
	登録見込み者数	50	19	50		50	
	延べ人数	900	325	900		900	
	人数	110	37	110		110	
	延べ人数	500	0	500		500	
朗読奉仕員養成事業	人数	150	0	150		150	
	定員	37	37	37		37	
福祉ホーム	利用人数	123	123	123		123	
	延べ人数	3,216	5,994	3,055		2,902	
旧身体障害者自立支援事業利用者支援事業（H19までは、身体障害者自立支援事業）		6	6	6		6	
生活支援事業							
生活訓練等事業	聴覚障がい者社会生活教室開催事業	延べ人数	1,000	631	1,000		1,000
	オストメイト社会適応訓練事業	延べ人数	200	231	200		200
	音声機能訓練事業	延べ人数	700	744	700		700
	点字即時情報ネットワーク事業	延べ人数	5,200	5,355	5,200		5,200
	中途失明者社会適応訓練事業	延べ人数	1,200	650	1,200		1,200
	箇所数	67	66	67		67	
	利用人数	897	839	960		1,027	
日中一時支援事業	延べ人数	41,629	30,934	44,543		47,661	
	社会参加促進事業						
	スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	延べ人数	1,100	702	1,100		1,100
点字・声の広報等発行事業	利用人数	690	692	690		690	
	自動車運転免許取得・改造補助事業	利用人数	69	59	69		69
	その他社会参加促進事業						
障がい者あんしん相談運営事業	箇所数	1	1	1		1	
	箇所数	1	1	1		1	
	利用人数	1,534	1,605	1,580		1,627	
	延べ人数	18,309	18,878	18,858		19,423	
	利用人数	30	31	24		18	
権利擁護支援事業							
障がい者虐待相談事業	箇所数	2	2	2		2	